

# 北海道議会時報

昭和58年第2号

第1回定例会  
決算特別委員会(56年度決算)



北海道議会事務局

北海道議会時報第3号第2号(昭和58年第1回定例会)

(表紙写真説明)

ラ イ ラ ッ ク

## 第1回定例会

概	要	1			
本	会	議	2		
提	出	案	件	10	
意	見	案	13		
請	願	・	陳	情	17

## 委員会 の 動 き

議会運営委員会	22
常任委員会	26
特別委員会	32
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	
決算特別委員会	

## 資 料

第1回定例会において議決を経た 条例の公布調	47
---------------------------	----

## 3 月 の メ モ

# 議 会 日 誌

## ▶ 2 月

- 15日（火） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
- 16日（水） **（第1回定例会開会）**  
議会運営委員会  
**本会議**（会期決定＜20日間＞、提案説明、前会より継続審査の決算認定）
- 22日（火） 議会運営、総務各委員会  
**本会議**（代表質問＜1人＞）
- 23日（水） 議会運営委員会  
**本会議**（代表質問＜2人＞）
- 24日（木） 議会運営、農務各委員会  
**本会議**（代表質問＜1人＞、一般質問＜2人＞）
- 25日（金） 議会運営委員会  
**本会議**（一般質問＜4人＞）
- 26日（土） 議会運営委員会  
**本会議**（一般質問＜2人＞、予算特別委員会設置、意見案1件可決）  
予算特別委員会（正副委員長の互選）
- 28日（月） 予算特別委員会（各部所管審査）

## ▶ 3 月

- 1日（火）
- 2日（水）
- 3日（木） 予算特別委員会（各部所管審査）
- 4日（金）
- 5日（土）
- 7日（月） 議会運営、各常任、総合開発調査特別各委員会、予算特別委員会（総括質疑、意見調整）  
**本会議**（緊急質問＜2人＞、各委員長報告、予算修正案否決、補正予算等可決、追加提案説明、土地利用審査会委員選任同意、意見案3件可決、請願・陳情審査）  
**（第1回定例会閉会）**
- 8日（火） 各常任、北方領土対策特別各委員会

# 第 1 回 定 例 会

## 総額 1 兆 6,506 億円余に及ぶ骨格予算成立

### ▶ 北海道発展計画点検報告に関する緊急質問 ◀

#### 概 要

① 知事及び議員の選挙を目前にした21期最終の議会である第1回定例会は、2月16日招集され、まず、今期定例会の会期を3月7日まで20日間と決定の後、総額1兆6,506億2,200万円に及ぶ昭和58年度当初予算及びこれに関連する議案等39件が上程され、知事から提案説明。ついで、前会から継続審査中の昭和56年度各会計歳入歳出決算について、決算特別委員長報告の後、討論、起立採決により9項目の意見を付し認定議決し、議案調査のため翌17日から21日まで5日間休会した。

② 休会明けの2月22日から、代表質問に入り、24日にこれを終え、昭和57年度各会計最終補正予算等の追加提案があり、知事から提案説明の後、一般質問に入った。

26日には一般質問を終結し、19人からなる予算特別委員会を設置の上、議案を各委員会に付託の後、「昭和58年度畜産物価格等に関する要望意見案」を可決の後、各委員会付託議案審査のため、2月28日から3月5日まで6日間休会した。

③ 予算特別委員会は、2月26日、正副委員長の互選を行い、28日から昭和58年度当初予算及び昭和57年度最終補正予算等に対する各部所管審議に入り、3月7日には知事に対する総括質疑を行い質疑終結後直ちに意見調整に入ったが、意見の一致を見るに至らず、社会党から58年度予算及び57年度補正予算を撤回し、組み替えの上再提出を求める動議の提出があり、起立採決の結果これを否決し、知事提案をいずれも原案可決した。

④ 会期最終日の3月7日は、北海道発展計画点検報告に関する緊急質問を行い、昭和58年度当初予算及び昭和57年度最終補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、社会党及び共産党からそれぞれ58年度予算及び57年度補正予算について撤回し、組み替えの上再提出を求める動議の提出があり、討論、採決の結果、両動議をいずれも否決し委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。

次に、土地利用審査会委員の選任同意の後、「理容師法・美容師法・クリーニング業法の資格免許制度堅持に関する要望意見案」ほか2意見案を可決し、請願2件、陳情1件を委員会決定のとおり採択と決定。

次いで、私学助成を求める請願について採決により継続審査と決定の後、閉会中事務調査の件を決定。最後に、堂垣内知事及び松浦議長から任期最終の議会の閉会にあたってあいさつがあり、開会以来20日目の3月7日深夜閉会した。

⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況						計
		原案可決	否 決	同意議決	承認議決	意見を付し認定議決	報告のみ	
知 事	56	51	0	1	3	0(1)	1	56(1)
議 員	6	4	2	0	0	0	0	6
計	62	55	2	1	3	0(1)	1	62(1)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

# 本 会 議

○2月16日（水） 午前10時29分開議、松浦義信議長、昭和58年第1回定例会の開会を宣し、引き続き、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、議長から、元議員高橋雄之助氏（1月24日）の逝去について弔意を表した旨を報告。次に、

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を本日から、3月7日までの20日間と決定。次に、

**日程第3 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号**を議題とし、知事から提案説明。次に、

**日程第4 前会より継続審査の報告第1号**を議題とし、若狭靖決算特別委員長(自民)から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から、反対討論があって、討論終結後直ちに採決を行い、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり意見を付し認定議決。

次いで、議案調査のため2月17日から2月21日まで5日間休会することに決定して、午前11時19分散会。

○2月22日（火） 午前10時27分開議、諸般の報告（請願の取り下げ申し出に伴う委員会付託の取り消しなど）の後、

**日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号**を一括議題とし、代表質問に入り、

**舟山 広治議員（社会）**から、

① 知事の政治姿勢に関し、防衛、北方領土返還についての中曽根総理の発言に対する受けとめ方及び北方海域における安全操業・北方領土返還運動への影響と対処方針、道退職職員の建設業関係への再就職と公務員倫理との関係に対する見解、人事委勧告の実施見通し、いわゆる道庁マシーンによる選挙活動に対する認識及び地位利用の疑いに対する見解、知事公約の達成状況に対する認識

② 財政及び経済問題に関し、道税収入見込みにあたっての道内経済の分析内容、地方交付税等一般財源の年間見通し、第2回定例会以降の財源対策、景気対策による道税収入への効果

③ 産業経済政策に関し、これまでの産業経済政策に対する評価と今後の展望、道発展計画の点検結果の議会への報告時期、道行政の基本的指針の見解

④ 農業問題に関し、本道農業の現状と発展計画との乖離に対する見解、本道農業の独自性に対する見解、食糧供給に対する本道の寄与に対する認識、水田転作の不拡大を国に要請する考え、今後の米の需給見通し、農業発展方策における水田面積と発展計画との関連、雑豆の輸入自由化阻止に対する見解、酪農・肉用牛経営の金融対策

⑤ 漁業問題に関し、漁業の再編整備を推進するにあたっての問題点と解決策、韓国漁船の操業による被害防止策、北朝鮮海域での操業再開の見通し、根室海域における違反操業の事実関係と行政処分を考え方、道立水産孵化場の移転整備計画の基本的な考え方、島松演習地での自衛隊演習による湧水池への影響の有無、支笏湖における漁業権設定と漁協設立に係る法的問題点、識者等の意見聴取による適切な対処方

⑥ 医療・福祉問題に関し、高齢者社会に対する基本的認識、老人保健法の施行に伴う対応策、市町村国保財政に対する助成拡大の考え、医療機関の集中排除と適正配置に対する見解

⑦ 自然保護及び環境保全に関し、釧路湿原の環境変化と開発行為との関連性、道の湿原調査の内容及び国立公園化の見通し、道内の湖沼汚染の現状と対策

⑧ 教育問題に関し、私立幼稚園の教育費に対する父母負担の軽減・保育所との機能連携の現状と評価、幼稚園の就園率が低い原因と対策、教職員定数の改善計画、養護学校における幼稚部の設置に対する見解、障害児に係る修学旅行の引率教員の増員の必要性、国の私学補助の減額に伴う道の対応策

⑨ 公安行政に関し、暴力団の武装化・資金獲

得犯罪の発生傾向と対策、右翼の取り締まり対策等について

質問があり、知事、選挙管理委員長、人事委員長、教育長及び警察本部長から答弁、議事進行の都合により、午後零時50分休憩、午後2時31分再開。舟山議員から再質問があり、知事から答弁準備に時間を要する旨発言があって、午後3時休憩、午後4時36分再開し直ちに散会。

○2月23日(水) 午後2時36分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号**を議題とし、昨日の舟山広治議員(社会)の再質問に対し知事及び選挙管理委員会委員長から答弁の後、舟山議員から発言。引き続き、代表質問を継続、

川口 常人議員(自民)から、

- ① 知事公約に関し、未達成の公約とこれに対する所見
- ② 景気浮揚対策に関し、経済不況の受けとめ方、本道の不況の特質に対する認識と景気回復策
- ③ 農業問題に関し、転作の対応策、合理的な土地利用等についての関係団体への指導の必要性、牛乳の的確な需給見通しの樹立、保証乳価の設定に係る基本姿勢
- ④ 水産問題に関し、海城総合開発事業の位置づけと推進策
- ⑤ 社会福祉対策に関し、地域福祉活動への取り組み、社会福祉施設の有効活用及び地域福祉活動の体制づくりに対する見解
- ⑥ エネルギー開発に関し、地域エネルギー開発の基本的な考え方、技術指導体制の整備に対する見解
- ⑦ 北方圏交流に関し、北方圏交流の成果と今後の取り組み姿勢
- ⑧ 観光レクリエーションの振興に関し、観光客誘致特別対策事業の強化に対する見解
- ⑨ 教育問題に関し、今後の中卒者の推移と増加期及び減少期を見越した高等学校の教育条件整備を行う考え、児童生徒の非行の未然防止のための教育相談推進事業の導入に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

高橋 鉦議員(公明)から、

- ① 知事公約に関し、公約の達成状況に対する認識
- ② 北海道発展計画に関し、計画の推進状況に対する評価、苫東開発の今後の進め方に対する見解
- ③ 行政改革に関し、道の行政改革の取り組み状況と今後の課題
- ④ 福祉医療問題に関し、保健医療基本計画の推進状況と今後の見通し、地域センター病院の選定・地域医療計画の策定状況、老人医療費一部負担制度導入の基本的考え方、国保事業に対する助成の考え
- ⑤ 景気対策に関し、本道の景気動向に対する認識、58年度予算における景気対策に対する基本的な考え、新日鉄の高炉の運休・志村化工伊達工場の閉鎖に伴う雇用対策、不況による身障者雇用に対する配慮の必要性
- ⑥ 農業問題に関し、農業試験場の整備の進め方、農業金融制度の重要性に対する認識と今後のあり方
- ⑦ 水産問題に関し、漁業及び水産加工業の振興対策の成果についての評価、今後の水産業発展のための方向についての見解
- ⑧ 教育問題に関し、今春の公立高校卒業者の就職状況、高卒者の離職率が高いことについての対処策、今後の高卒者の就職対策、特殊学校高等部の進路状況と社会的自立の推進策
- ⑨ 警察行政に関し、少年非行の実態に対する認識と校内暴力を含めた少年非行の防止策等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁、高橋議員から再質問、知事から答弁があって午後5時36分延会。

○2月24日(木) 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号**を議題とし、代表質問を継続、

湯田 倉治議員(道政)から、

- ① 知事の今後の政治活動と知事公約に関し、知事の任期満了後中央政界に出馬する意思、公約実現において困難を伴った事項及び今後

の道政上の重要課題に対する見解

- ② 福祉問題に関し、身障者授産施設の整備方針、授産施設の受注拡大方策、授産施設の運転資金の枠拡大に対する見解
- ③ 韓国漁船問題に関し、漁具被害補償の早期解決、関係漁民の経営と生活の安定確保、監視体制の強化に対する見解、韓国に対する漁業水域法適用の実現に対する決意
- ④ 石炭対策に関し、北炭夕張新炭鉱の労務債、退職金の支払見通し、新会社発足に対する努力方、幌内炭鉱の出炭不振・北炭夕張新炭鉱の閉山に伴う三笠市及び夕張市の地方債許可についての見解、国鉄幌内線の貨物取扱い廃止を阻止する決意、深部採掘に伴う試験炭鉱の設置に対する見解、産炭地域の今後の振興対策
- ⑤ 職員のストライキ参加と賃金カットに関し、ストライキ参加職員の賃金カットを厳正に行う必要性、北教組と全道庁で賃金カットの額が異なる理由と今後の対処方針
- ⑥ 青少年の健全育成に関し、家庭教育の現状と家庭における青少年の健全育成に対する見解、青少年非行の現状及び今後の対応と指導
- ⑦ 教育問題に関し、教職員の資質向上、研修の充実に対する見解
- ⑧ パチンコ店の規制に関し、道内の大型パチンコ店の実態、射幸心の助長を排除する必要性等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって代表質問を終結。議事の都合により、日程第1の議事を中止。ついで、日程第1に追加し、議案第36号ないし第51号を議題とすることについてはかり、異議なく決定の後、

**追加日程 議案第36号ないし第51号を議題とし、知事から提案説明。次に、**

**日程第1にあわせ追加日程を一括議題とし、一般質問に入り、**

**高橋 康之議員（自民）から、**

- ① 野菜の生産振興に関し、野菜の産地化対策に対する見解、今後の野菜の生産振興の進め方
- ② 住宅対策に関し、住宅に対する道民ニーズの把握についての見解等について

質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、

午後零時5分休憩、午後1時41分再開。

**小田原 要四蔵議員（社会）から、**

- ① 老人保健・医療に関し、老人保健法の施行に伴う診療報酬改正の問題点、特例許可外病院の除外の承認についての基本方針
- ② 国鉄再建と特定地方交通線に関し、特定地方交通線問題に対する基本的な考え方、二次線の凍結に対するこれまでの取り組み、国鉄再建法の改正運動を展開する考え
- ③ 市町村立高校の道立移管に関し、市町村立高校の現状認識、道立移管後の市町村の債務償還対策を積極的に進める考え
- ④ 原発と電力需要想定に関し、北電の電力需要定量的確性、泊原発運開に伴う過剰設備の懸念
- ⑤ 選挙運動に関し、公務員の選挙運動の制限規定の解釈と選挙活動を行っている事実の有無等について

質問があり、知事、選挙管理委員長、教育長及び警察本部長から答弁、小田原議員から再質問があって、議事進行の都合により午後2時45分休憩、午後4時39分再開。知事、教育長及び警察本部長から休憩前の小田原議員の質問に対する答弁の後、小田原議員から発言があって午後4時55分延会。

**○2月25日（金） 午前10時34分開議、諸般の報告の後、**

**日程第1 議案第1号ないし第51号及び報告第1号ないし第3号を議題とし、一般質問を継続、**

**川崎 守議員（共産）から、**

- ① 本道の平和と安全に関し、日米首脳会議における中曽根総理の発言と本道の平和と安全への影響
- ② 知事公約等に関し、私学助成・医療・福祉関係補助金の当初予算計上見送りの理由、道の補助団体の政治献金に対する見解、家庭用灯油特別対策資金の貸付け対象を拡大する考え、檜山支庁幹部職員と地元業者の会合についての事実関係
- ③ 産業開発問題に関し、二風谷ダム及び平取ダム建設計画の見直しの必要性、函館市沿岸の大規模漁場造成事業の取り組み、北炭夕張炭鉱の福利厚生施設の利用期間の延長を求め

る考え、新会社設立の見通し、公共事業の分離発注に対する見解、下請保護の点検、指導の状況

- ④ 道民生活に関し、人事委勧告の実施に対する見解、婦人行動計画の進捗状況と推進策、パートタイマーの労働条件の改善状況、老人保健法による保健事業の実施と保健婦の養成、就業状況及び養成増に対する見解、ホームヘルパーの増員の考え、失業対策事業の高齢就労者の就労日数の削減方針に対する対処、身障者の医療費の実態調査の実施、函館市における総合福祉訓練センターの設置、脳性麻痺の早期発見・療育体制の確立についての見解
- ⑤ 教育問題に関し、高校入試の総合選抜制に対する検討状況、中学生の非行の現状認識と対策、高校進学率アップに対する見解、高体連・高文連などへの出場における引率旅費の現状、函館市における道立美術館の建設に対する見解等について

質問、知事及び教育長から答弁、川崎議員から再質問及び再々質問があり、知事及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時34分休憩、午後2時4分再開。引き続き、

**山口 真人議員（自民）**から、

- ① 都市対策に関し、中核都市における活力と魅力ある町づくりに対する取り組みの必要性、都市における緑化基本計画の策定を指導する考え
- ② 水産問題に関し、北後志の沿岸漁業資源の増大対策、ヒラメの人工種苗生産技術の開発に対する見解
- ③ 芸術文化の振興に関し、地域出身の芸術家の作品を展示する記念館・文化館の建設、郷土の民俗芸能の継承・保存に対する見解について

質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

**関根 建二議員（社会）**から、

- ① 私学助成に関し、私学振興に対する基本的見解、教育費の父母負担について公・私立高校間格差に対する現状認識、格差解消のための施策の内容、私立高校に対する管理運営対策費補助金が58年度予算に計上されていない理由、入学金・授業料値上への影響
- ② 医療・福祉問題に関し、救急医療に対する

取り組み方針、医療情報システム調査の現状と見通し、救急医療における搬送体制のあり方、これまでの福祉行政の評価、障害者の行動計画の実効を期するための方策、在宅福祉についての考え方、障害者の社会参加と住みよい街づくり推進事業の実施状況、児童手当の地方自治体の一部負担導入に対する見解

- ③ 広域行政に関し、一部事務組合の施設の維持管理・労働安全対策等の指導体制、標津町外2町の尿尿処理組合の施設における事故原因、労働安全対策上の問題点、町の管理責任と事故再発防止のための今後の指導のあり方
- ④ 湖沼の水質保全対策に関し、阿寒湖の汚泥除去についての取り組み状況、窒素及び磷の環境基準設定に伴う湖沼の類型指定に対する方針、湖沼に流入する窒素及び磷の削減対策等について

質問があり、知事から答弁。関根議員から再質問、知事から答弁。次に、

**藤井 虎雄議員（社会）**から、

- ① 夕張炭鉱新会社設立に関し、政府に強力な要請活動を展開する必要性、知事みずから現地入りする考え
- ② 国鉄貨車取り扱い廃止等に関し、合理化計画の実施に伴う産業及び道民生活への影響、円滑な貨物輸送の確保について努力方、幌内線及び歌志内線の利用促進、苫東厚真火発への引き込み線敷設について北電を指導する考え
- ③ 原発、電源開発に関し、ウラン資源の見通し、北本連系送電の実現に伴う電力供給予備率の改定の考え、原発のコスト試算の妥当性、エネルギー多様化と原発建設との関連性、滝川老朽火力のリプレースに対する見解、国内炭と海外炭の価格差についての北電社長の発言に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。藤井議員から再質問、知事から答弁。藤井議員から再々質問、知事から答弁。小田原要四蔵議員（社会）から休憩を求める発言があり、午後4時46分休憩、午後5時3分再開し、午後5時5分延会。

○2月26日（土） 午前11時2分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第51号及び報告第1号ないし第3号**を議題とし、知事から昨日の本会議における藤井虎雄議員（社会）の再再質問に対する補足答弁の後、一般質問を継続、

**熊谷 克治議員（社会）**から、

- ① 苫東開発計画に関し、計画の現状と達成見通し、住宅団地の用地買収の金利負担に対する所見
- ② 発展計画に関し、点検結果の公表時期、産業別道内純生産、工業出荷額、農業生産量等の計画の中間における達成状況、発展計画の現況についての分析と将来予測、計画点検後の対処方針
- ③ 知事の政治姿勢に関し、知事の職務に対する認識、知事の年間の実績に対する評価等について

質問があり、知事から答弁。熊谷議員から再質問、知事から答弁。熊谷議員から発言。引き続き、

**工藤 啓二議員（公明）**から、

- ① 中小企業金融対策に関し、年度末の金融の円滑化についての対処策、制度融資の拡大及び条件緩和に対する見解
- ② 農業問題に関し、道産小麦の契約促進、品種改良に対する取り組み、指定食肉安定価格の決定についての対処策、肉用牛経営安定のための融資制度の確立、枝肉取引規格の設定に対する見解
- ③ 衛生行政に関し、市町村立病院の経営の現況と道の措置、地域医療確保に対する見解
- ④ 青少年対策に関し、存学青少年の社会参加としての奉仕活動の促進、今後の施策に対する所見等について

質問、知事及び教育長から答弁があって一般質問を終結。次いで、

和田 勝之議員（自民）から、予算に関する案件について、本議会に19人からなる予算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく決定。次の委員を議長指名により選任のうえ、議案第1号ないし第17号、第20号、第28号ないし第30号及び第36号ないし第46号は予算特別委員会に、議案第32号は総合開発調査特別委員会に付託することに決定。

次に、残余の議案をそれぞれ関係常任委員会に付託した。

#### ○予算特別委員（19人）

浅野 俊一（公明）	神本 三也（社会）
青山 章（自民）	伊藤 弘（自民）
高橋 康之（自民）	勝木 省三（道政）
中川 義雄（自民）	青山 正男（自民）
長岡 寅雄（社会）	吉野 之雄（社会）
輪島 幸雄（社会）	渋谷 澄夫（社会）
石崎喜太郎（自民）	川口 常人（自民）
佐藤 静雄（自民）	湯田 倉治（道政）
古川 靖晃（自民）	武部 勤（自民）
東 典俊（自民）	

次に、

**追加日程 意見案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略し、直ちに採決に入り、異議なく原案のとおり可決。

次に、各委員会付託議案審査のため、2月28日から3月5日まで休会することに決定して午後零時31分散会。

**○3月7日（月）** 午後4時7分開議、諸般の報告（予算の組替え動議の提出など）の後、議長から、元道会議員土田己之助氏の逝去（2月28日）について弔意を表した旨を報告。次に、

**追加日程 北海道発展計画点検報告に関する緊急質問**に入り、

**榎林 巖議員（社会）**から、道議会総合開発調査特別委員会に報告した報告書と北海道総合開発委員会への報告との関連、経済情勢の変化と弾力運用についての所見、食糧供給基地計画の推進に対する評価、工業出荷額が落ち込んだ理由、医師の地域的偏在に対する所見、発展計画の点検結果と新北海道総合開発計画及び三全総の改定との関連等について

質問があり、知事から答弁、榎林議員から意見があり、引き続き、

**本間 喜代人議員（共産）**から、発展計画点検結果と見直し又は改定に対する見解、発展計画の推進状況に対する認識と新計画を策定する考え等について

質問があり、知事から答弁。本間議員から再質問、知事から答弁。本間議員から発言があって緊急質問を終結。次に、

**日程第1 議案第1号ないし第51号及び報告第1号ないし第3号**を一括議題とし、武部勤予算特別委員長（自民）から議案第1号ないし第17号、第20号、第28号ないし第30号及び第36号ないし第46号について、青山正男総務委員長（自民）から議案第18号、第19号、第21号、第31号、第48号、第51号及び報告第1号について、石山直行厚生委員長（自民）から議案第23号ないし第25号、報告第2号及び第3号について、若狭靖農務委員長（自民）から議案第26号及び第49号について、中田繁夫文教林務委員長（社会）から議案第27号及び第50号について、吉田政一総合開発調査特別委員長（自民）から議案第32号について、笹浪幸男建設委員長（自民）から議案第33号ないし第35号及び第47号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、

輪島幸雄議員（社会）ほか26人から提出の議案第1号、第36号及び第44号については撤回し、組み替えの上再提出を求める動議及び本間喜代人議員（共産）ほか1人提出の議案第1号、第14号ないし第17号、第36号ないし第38号及び第40号ないし第45号については撤回し、組み替えの上再提出を求める動議に関する趣旨説明を行い、討論に入り、佐々木行雄議員（自民）から、輪島幸雄議員（社会）ほか26人提出の動議並びに本間喜代人議員（共産）ほか1人提出の動議に関する反対討論、吉野之雄議員（社会）から輪島議員ほか26人提出の動議に関する賛成並びに本間議員ほか1人提出の動議に関する反対討論、小野秀夫議員（道政）の輪島議員ほか26人提出の動議並びに本間議員ほか1人提出の動議に関する反対討論、川崎守議員（共産）の本間議員ほか1人提出の動議に関する賛成並びに輪島議員ほか26人提出の動議及び議案第23号、第28号、第32号、第48号、報告第1号ないし第3号に関する反対討論があって討論終結。

次いで採決に入り、本間議員ほか1人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、社会、道政、公明反対）をもって否決。

次に、輪島議員ほか26人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明、共産反対）をもって否決。

次に、議案第1号、第36号、第44号、第48号

及び報告第1号ないし第3号を問題とし、起立多数（社会、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。

次に、議案第14号ないし第17号、第23号、第28号、第32号、第37号、第38号、第40号ないし第43号及び第45号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。

次に、議案第2号ないし第13号、第18号ないし第22号、第24号ないし第27号、第29号ないし第31号、第33号ないし第35号、第39号、第46号、第47号及び第49号ないし第51号を問題とし、異議なく、委員長報告のとおり原案可決。次に、

**日程第2 議案第52号**を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、異議なく原案のとおり同意議決。次に、

**日程第3 意見案第2号ないし第4号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次に、

**日程第4 請願・陳情審査の件**を議題とし、委員長報告を省略の上、いずれも委員会決定（採択3件）のとおり決定。

次に、文教林務委員長から申し出のとおり請願第189号について閉会中継続審査に付することについて起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもって継続審査とすることに決定。

次に、閉会中事務継続調査の件について、各常任委員長から申し出のとおり、異議なく継続調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件はすべて議了。任期最終の議会の閉会にあたり、知事及び議長からあいさつがあって午後11時24分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る2月26日設置され、昭和58年度各会計予算及び昭和57年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案32件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますと

ともに、審査の方法等について協議の結果、2月28日から各部所管の質疑に入り、本日をもって一切の質疑を終結し、各派代表者により意見の調整を図り、先ほどの委員会において、お手元に配付の報告書のとおりの結論を得た次第であります。

御承知のとおり、今回、付託されました案件のうち、昭和58年度各会計予算につきましては、道政運営の基本となる経費を中心としたいいわゆる骨格予算として人件費及び義務的経費のほか、実施時期などを勘案し、行政の中断を避けるため、当初予算に計上を必要と認められるものについて所要の措置を講じたものでありまして、その総額は1兆6,506億2,208万円余となっており、これらの案件のほか、昭和57年度各会計最終補正予算並びにこれに関連する議案等でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

各部所管の質疑を通じ論議の対象となりました主なる事項につきましては、別紙お手元に配付の審査概要により御承知願いたいと存じます。

なお、総括質疑におきましては、

1. 低レベル放射性廃棄物について。
1. 人勅の凍結問題について。
1. 予算編成方針について。

論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間において各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第36号及び第44号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、輪島幸雄君外4人から、議案第1号、第36号及び第44号につきましては撤回し、組み替えの上再提出を求める動議が提出され、本動議を採決の結果、賛成者少数をもって否決、次いで、議案第1号、第36号及び第44号について採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、残余の議案第2号ないし第17号、第20号、第28号ないし第30号、第37号ないし第43号、第45号及び第46号につきましては、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号、第36号及び第44号につきましては、少数意見が留保されていることを申し添えます。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位

におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。これをもって、私の報告を終わります。

## 決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました昭和57年第4回定例会から継続審査中の報告第1号 昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、昨年12月21日設置され、直ちに正・副委員長の互選を行い、同月24日には、その後の審査方法を決定するとともに、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、その後、決算内容の調査に入った次第であります。

この間、審査の必要上、20項目の資料要求を行い、理事者から資料の提出を受け、本年1月19日総体質疑を行うとともに、1月27日から各部所管の審査を行い、2月10日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、総体質疑及び総括質疑を通じ論議の対象となりました主なる事項を申し上げます。

まず、総体質疑におきましては、

道税の税収見積もりを減額補正した経緯及び問題点。道税収入未済額と不納欠損金の問題点及び解消策。国税調査に伴う料理飲食業者及び漁業関係者の所得隠蔽に対する課税対策。北東公庫発表の「民間が築く21世紀のビジョン」についての認識と発展計画及び地域振興計画との関連性。大型特定開発から、地域の条件に根差した地域開発への転換に対する見解。開銀の低レベル放射性廃棄物処理施設の用地買収予算措置に対する見解及び貯蔵施設の安全性。ごみ処理事業に対する補助等地域振興奨励費補助金の使途の妥当性と今後の姿勢。苫小牧東部開発株式会社の借入金及び欠損金に対する対策。苫東における企業誘致の目途と取り組み姿勢及び海外企業進出の可能性。苫東開発のマスタープランの再検討。北海道生薬公社の経営状況と再建対策。管理職給与凍結額と財政状況

との関連。昭和57年度人事委員会勧告に対する取り組み姿勢。団体に対する補助の再検討。監査委員指摘の工事積算に係る改善状況。行政効果の測定方法の検討状況。日米間の協定による三海峡封鎖に関する見解。小樽礼札航路対策。超過負担の現状と解消策及び機関委任事務の検討状況。低価格づけ業者及び地元業者に対する発注増の考え。石狩湾新港における木材船の利用状況。苫小牧港及び石狩湾新港の工事発注に係る道内業者の受注拡大に対する見解。明年度における道立高校の授業料に対する検討。など、決算にかかわる基本的問題。総括質疑におきましては、発展計画点検結果の公表時期と方法。海峡封鎖問題に対する見解など、各般にわたり活発な論議が交わされた次第であります。なお、各部所管ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主なる事項につきましては、別紙お手元に配付の審査概要により御承知願います。質疑終結後、各派代表者間におきまして意見の調整を図りましたが、意見の一致を見るに至らず、2月10日の委員会におきまして、採決の結果、賛成者多数をもって、次に申し上げる意見、すなわち、

1. 道税において収入未済額が増加傾向にあるが、この解消策について検討し、収入の確保に努めるべきである。
2. 株式会社北海道生薬公社の再建方策について、早急に検討をすべきである。
3. 厳しい財政運営のもとで国庫補助事業等において多額の超過負担が生じているが、この解消について今後一層努力すべきである。
4. 各種団体に対する補助金について見直しと合理化を図るとともに、補助金を交付した団体の事業における適正な運営及び事務処理を確保するため、指導監督の強化を図るべきである。
5. 道の行う行政施策の効果測定の方法について検討すべきである。
6. 公共事業の発注に当たっては、特定企業偏重とならないよう配慮し、地場産業育成の見地から、地元中小企業への受注機会の拡大に努めるべきである。
7. 英会話教材等訪問販売に係る苦情が多発している現状にかんがみ、消費者保護の観点から、関係業者の指導徹底を図るべきである。

8. 64年国体に向けて行う選手強化策は、選手層全般の競技力の水準の向上に努めることとし、関連施設整備に当たっては、国体終了後の利用をも考慮して行うべきである。

9. 道内各港についての港湾機能の分担を図るべきである。

以上の意見を付し、昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件は、これを認定すべきものと決定いたしました次第であります。この間、委員各位におかれましては、年末年始にわたるきわめて多忙な時期でありましたにもかかわらず、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御苦勞に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって私の報告を終わります。

## 第1回定例会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 16	1	昭和58年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 7	原案可決
同	2	昭和58年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	昭和58年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	4	昭和58年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	昭和58年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	6	昭和58年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	7	昭和58年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	昭和58年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	昭和58年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	10	昭和58年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	11	昭和58年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	12	昭和58年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	13	昭和58年度北海道北広島団地開発事業会計予算	同	同	同
同	14	昭和58年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	15	昭和58年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	16	昭和58年度北海道工業用水道事業会計予算	同	同	同
同	17	昭和58年度北海道有料道路事業会計予算	同	同	同
同	18	北海道立開拓の村条例案	総務	同	同
同	19	北海道職員勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	20	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	21	北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	22	北海道立野幌森林公園駐車場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	23	北海道ウタリ子弟大学等修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	厚生	同	同
同	24	北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	25	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	26	北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例案	農務	同	同
同	27	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	28	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	29	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	同	同	同
同	30	宝くじの発売に関する件	同	同	同
同	31	昭和58年4月10日執行の北海道議会議員の一般選挙における公職選挙法第144条の4の規定の適用に関する件	総務	同	同
同	32	二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	総合開発調査特別	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 16	33	財産の処分（建物、釧路市美原）に関する件	建設	3. 7	原案可決
同	34	財産の処分（建物、沙流郡門別町）に関する件	同	同	同
同	35	財産の処分（建物、岩見沢市東町）に関する件	同	同	同
2. 23	36	昭和57年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予算特別	同	同
同	37	昭和57年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	38	昭和57年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	39	昭和57年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	40	昭和57年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	41	昭和57年度北海道病院事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	42	昭和57年度北海道有林野事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	43	昭和57年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	44	昭和57年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	45	昭和57年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	46	林業信用基金に対する出資の件	同	同	同
同	47	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建設	同	同
同	48	財産の取得（苫小牧東部工業基地用地）に関する件	総務	同	同
同	49	財産の取得（北海道立産業共進会場用地）に関する件	農務	同	同
同	50	財産の取得（北海道浦幌高等学校用地）に関する件	文教林務	同	同
同	51	財産の処分（土地・勇払郡厚真町）に関する件	総務	同	同
3. 7	52	北海道土地利用審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決

## 報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 16	1	専決処分報告につき承認を求める件（札幌医科大学附属病院使用料条例の一部を改正する条例、1月29日専決処分）	総務	3. 7	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（北海道立病院、療養所及び診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例、1月29日専決処分）	厚生	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（北海道立精神衛生センター条例の一部を改正する条例、1月29日専決処分）	同	同	同
同	4	専決処分報告（損害賠償の額の決定、1月20日2件、2月2日1件、2月5日2件専決処分）			報告のみ

## 前会から継続審査中の案件

### 報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
57.12.10	1	昭和56年度 北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	57. 2.16	意見を付し認定議決

### 第1回定例会において議員から提出のあった案件

#### 意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
2. 26	1	昭和58年度畜産物価格等に関する要望見書	若狭 靖議員ほか12人	2. 26	原案可決	農 務
3. 7	2	理容師法・美容師法・クリーニング業法の資格免許制度堅持に関する要望見書	石山直行議員ほか12人	3. 7	同	厚 生
同	3	中小企業の経営危機打開に関する要望見書	藤井虎雄議員ほか12人	同	同	商工労働
同	4	所得税減税に関する要望見書	青山正男議員ほか12人	同	同	総 務

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

#### 主 な 動 議

提出月日	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
3. 7	議案第1号、議案第36号、議案第44号を撤回し、組替えのうえ再提を求める動議	輪島幸雄議員ほか26人	3. 7	否 決
同	議案第1号、議案第14号ないし第17号、議案第36号ないし第38号、議案第40号ないし第45号を撤回し、組替えのうえ再提出を求める動議	本間喜代人議員 ほか1人	同	同

# 意見案

## 意見案第1号

(昭和58年 1定  
若狭 靖議員ほか12人提出<農務>  
2月26日 原案可決)

### 昭和58年度畜産物価格等に関する要望意見書

本道は、我が国最大の食糧供給基地として重要な役割を担っており、生産性の高い経営の確立をめざし、関係者が一丸となって努力を重ねてきたところである。

しかしながら、本道の酪農・畜産経営は、畜産物価格の低迷や生産資材価格の上昇等により所得が減少し、加えて、牛肉の輸入自由化に対する圧力が強まるなど容易ならざる事態に直面している。

したがって、国においては、本道の酪農・畜産が当面するこれらの諸問題を早期に解決し、安定的な発展が図られるよう左記事項の実現について強く要望する。

#### 記

1. 加工原料乳保証価格の引き上げについて  
加工原料乳保証価格の設定に当たっては、本道の酪農経営の厳しい実態を勘案し、今後の経営に希望が持てる乳価キログラム当たり99円68銭に引き上げること。
2. 適正な指定食肉価格の設定について  
指定食肉価格の設定に当たっては、生産資材価格の上昇等により著しく悪化している本道畜肉経営の実態を十分反映した価格とすること。  
また、枝肉市場価格が安定基準価格を下回った場合は、速やかに食肉の買上げ等の措置を講ずること。
3. 加工原料乳限度数量の大幅な拡大について  
加工原料乳限度数量については、乳製品需給の実態を的確に把握し、国内自給率を高める観点から、枠を大幅に拡大するとともに、その配分に当たっては加工原料乳を主体とする本道酪農の実情を十分勘案すること。
4. 肉用牛生産振興に関する法律の制定について  
肉用牛の国内における安定的な生産供給を確保するため、長期的な視点に立って、肉用牛の生産振興を図るための法律を早期に制定すること。
5. 肉用牛生産振興対策の拡充について  
肉用牛の安定的な生産振興を図るため、粗飼料を主体とする肥育など、低コスト牛肉生産のための強力な促進対策を講ずるとともに、子牛生産奨励対策を継続実施すること。
6. 酪農経営負債整理資金の融資枠の拡大について  
昭和56年度から実施している酪農経営負債整理対策の効果的な推進を図るため、資金需要の実態を踏まえ、これまでの融資枠を大幅に拡大すること。
7. 肉用牛経営に対する金融対策の充実強化について  
素牛の購入等に多額の資金を必要とする肉用牛経営の安定を図るため、特別な低利運転資金の融通制度を確立すること。
8. 国産生乳の需要拡大について  
国産生乳の需要拡大を図るため、生乳需給調整対策を継続するとともに、ロングライフミルクの常流流通を可能とする措置を早期に講ずること。  
また、国産ナチュラルチーズの振興方策を実現されたい。

9. 大衆牛肉の取引規格の設定について

牛肉の生産流通の合理化を促進するため、乳用種など大衆牛肉のみを対象とする新たな枝肉取引規格を設定すること。

10. 飲用牛乳市場価格の正常化について

酪農・乳業の健全な発展を図るため、飲用牛乳市場価格の正常化に必要な措置を講ずること。

11. 畜産物の輸入抑制について

現在、国内では、生乳など畜産物の需給調整に関係者挙げて努力している実情にかんがみ乳製品、牛肉など畜産物の輸入については、現行の規制措置を堅持するとともに、国内生産に影響を及ぼさないよう効果的な措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦義信

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
厚生大臣、農林水産大臣 }

意見案第2号

(昭和58年 1定  
石山直行議員ほか12人提出<厚生>  
3月7日 原案可決)

理容師法・美容師法・クリーニング業法の  
資格免許制度堅持に関する要望意見書

理容業・美容業・クリーニング業は、国民の日常生活に関連の深い業種であり、公衆衛生確保等の見地から、関係法令により、資格免許制度をとっている。

しかるに、国の行政見直しの一環として、現行の資格免許制度等について、検討されると伝えられているが、この制度が廃止された場合には、これら業界の資質の低下を招き、ひいては公衆衛生上多大な影響を及ぼすことが懸念される。

よって、政府においては、公衆衛生確保のため、現行の資格免許制度を堅持されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦義信

内閣総理大臣、厚生大臣 } 各通  
行政管理庁長官 }

(昭和58年 1定  
藤井虎雄議員ほか12人提出<商工>  
3月7日 原案可決)

### 中小企業の経営危機打開に関する要望意見書

中小企業を取りまく経済環境は、消費不況による内需不振、輸出の伸び悩み、公共事業の抑制などにより悪化の一途を辿り、中小企業の経営は一段と厳しさを増している。このままで推移するならば、本年は中小企業倒産の多発は必至とみなければならない、

わが国の中小企業は、国民経済と地域経済に密接に係わっており、その経営破綻は、国民生活に多大な不安を与えるものである。したがって、中小企業の経営基盤を確立し、中小企業の活力を再生することが急務であり、国民生活の安定のためにも不可欠の条件である。

政府におかれては、中小企業の経営危機打開のために、次のような実効ある具体策を早急に実施するよう強く要望する。

1. 政府系中小企業金融三機関における融資制度の改善、拡充、信用補完制度の充実をはかるとともに、諸業務の円滑化を推進すること。
  1. 「中小企業倒産防止共済制度」、「倒産防止特別相談事業」の拡充など倒産防止策を強化すること。
  1. 中小企業向け官公需の拡大をはかるなど、中小企業の仕事の確保に努めること。とくに事業の発注については、官公需適格組合、地元業者を優先して行うこと。
  1. 下請中小企業の経営を守るため「下請代金支払遅延等防止法」の強化改正を行うこと。
  1. 「中小企業近代化資金等助成法」に基づく「設備近代化資金貸付制度」、「設備貸与制度」を強化拡充すること。
  1. 停滞している中小企業の設備投資を活発にするため、中小企業の投資減税の拡充を実施すること。  
また、中小企業の事業継承のため、相続税の軽減措置を講ずるなど税負担を軽減すること。
  1. 地域経済活性化のため「特定不況地域中小企業対策臨時措置法」の強化改正などにより、地場産業の振興、育成策を強化すること。
  1. 中小企業経営改善普及事業と指導体制を充実強化し、経営基盤の確立をはかること。
- 右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦 義信

内閣総理大臣、大蔵大臣} 各通  
通商産業大臣、労働大臣}

意見案第4号

(昭和58年 1 定  
青山正男議員ほか12人提出<総務>  
3月7日 原案可決)

所得税減税に関する要望意見書

昨今における景気の停滞、雇用の不安、所得の伸び悩み等により、国民の経済生活は大きく圧迫を受けている。一方、所得税の課税最低限度額は、昭和53年以来据え置かれており、物価の上昇などを考慮した場合、実質的な増税となっている。

政府においては、国民生活の安定向上のため、民間経済の活力の維持、内需拡大等による景気浮揚を図り、あわせて、大幅な所得税の減税を早期に実施されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦義信

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
内閣官房長官 }

## 請 願 ・ 陳 情

① 第1回定例会において各常任委員会に付託されたもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
193	季節労働者の雇用確保と新しい「積寒制度」に関する件	地元で働く仕事と90日支給復活を要求する北海道連絡会 代表 山科 喜一	商工労働	審議未了

### 陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
90	国鉄池北線・名寄本線・湧網線の存続に関する件	網走支庁管内総合開発期成会 会長 網走市長 安藤哲郎 ほか3人	総 務	採 択

② 継続審査中のものであって、第1回定例会において採否の決定があったもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	厚 生	議決不要
117	老人医療無料制度の充実を求める決議に関する件	同	同
118	老人保健法（案）の制定に関する件	同	同
172	行政改革に伴う理容・美容・クリーニング業の許認可事項等に関する件	同	採 択
191	腎臓病の予防、治療対策の拡充と患者の生活保障対策の改善を要望する件	同	同
182	はり・きゅう・マッサージを医療として正しく位置づけ視力障害者の仕事と生活を守る件	同	取り下げ
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策 特 別	同

### 陳 情

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
64	郵便預金の現行制度存続に関する件	総 務	議決不要
65	「郵便貯蓄を見守ること」に関する件	同	同
66	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同	同
70	郵便貯金問題に関する件	同	同
74	江別市選出の道議会議員の定数増員に関する件	同	同
75	総合助燃媒ターボエース（灯油用）に係るテスト結果の相違を解決する方策に関する件	同	同
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生	取り下げ

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
189	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅な私学助成を求める件	文教林務	継続審査

④ 審議未了となったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	総 務
24	登別市に警察署設置の件	同
100	指名競争入札の執行に関する件	同
115	樺太会館建設に関する件	同
116	「核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律（非核3原則法）」の制定促進に関する件	同
125	国民生活に必要な制度と地方財政への補助金・交付金削減・一括改悪をやめ、民主的な行財政改革によって福祉・教育・地方財政などの充実をもとめる件	同
126	憲法改変・新憲法制定決議に反対の件	同
155	つり人対策に関する件	同
157	たばこ専売制度存続に関する件	同
165	灯油価格値下げ対策等を要求する件	同
168	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	同
176	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件（外2件）	同
184	平和憲法を守り北海道の非核地帯宣言を要請する件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
47	業害スモン恒久対策に関する件	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	同
53	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、拡充を要求する件	同
61	道立内部障害者更生指導所的美幌市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	厚 生
96	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	同
119	医療法の一部改正に関する件	同
120	医薬税制の確立及び新医療法人の立法化に関する件	同
121	療養担当手当の引上げに関する件	同
134	難病検診と道立江差病院診療充実に関する件	同
140	精神衛生社会生活適応施設の設立に関する件	同
163	優生保護法の改正に関する件	同
166	灯油価格値下げ対策等を要求する件	同
169	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	同
175	老人医療の有料化と所得制限の強化に反対し、高齢者の健康と医療を守ることにに関する件	同
178	優生保護法の改正に反対する件	同
179	同	同
180	低肺機能障害者に対する救急医療対策確立に関する件	同
181	優生保護法の改正反対に関する件	同
183	障害者世帯及び高齢者世帯に対する積雪期の除雪・冬季採暖費の援助を求める件	同
186	国民生活犠牲の行財政改革に反対し、主任手当をやめ教育条件の整備を求める件	同
187	優生保護法の改正反対に関する件	同
188	老人医療費無料制度の継続と拡充を求める件	同
108	季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善に関する件	商工労働
113	季節労働者の雇用確保と生活保障等に関する件	同
151	労働行政職員の増員による行政体制確立に関する件	同
152	積寒給付金制度の改善・継続と季節労働者の雇用対策に関する件	同
160	煉瓦工の養成に関する件	同
164	エルピーガス販売業者の生活権確保のための行政指導並びに釧路ガス株式会社との紛争解決のためのあっ旋依頼に関する件	同
167	灯油価格値下げ対策等を要求する件	同
170	灯油価格の値下げを要求し暮らしを守る対策を求める件	同
173	中小企業承継税制の創設促進に関する件	同
174	中小企業の事業承継税制の早期確立に関する件	同
69	道営住宅の敷金還付に関する件	建 設
156	つり人対策に関する件	水 産
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	文教林務
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	文教林務
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復(都市部での総合選抜制)、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員(寮母)の勤務条件改善に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求める件	同
103	留萌南部地区(留萌市・増毛町・小平町)高等学校普通科間口増設に関する件	同
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と56年・57年「ヒノエウマ」の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	同
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	同
135	学校の主任制度・手当支給の撤廃を求める件	同
136	40人学級の早期実現・教科書無償制度の維持・私学助成の拡大等・教育予算大幅増額を求める件	同
139	私学の学費値上げをおさえ、父母負担と教育条件の公私格差を是正するために、私学助成の大幅な増額を求める件	同
185	国民生活犠牲の行政改革に反対し主任手当をやめ教育条件の整備を求める件	同
190	教科書の書き換えに反対し、子どもに真実に基づくよい教科書を与えることを求める件	同
192	公立学校教員採用選考検査の国籍条項の撤廃を求める件	同

## 陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
78	塩専売制度の存続に関する件	同
83	「核兵器廃絶、平和北海道宣言」に関する件	同
19	道立和光学園の廃止反対の件	厚 生
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	同
79	愛国児童館建設に関する件	同
80	元軍人軍属恩給欠格者の救済に関する件	同
84	(仮称) 釧路がん検診センターの設置に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
85	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚 生
88	栄養士免許及び管理栄養士登録制度改廃に反対する件	同
89	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	同
87	政府系資金の貸付対象業種にパチンコ遊技業を指定することに関する件	商工労働
29	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農 務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同
71	札幌盲学校の名称変更の件	同
72	道立高等看護学院を専修学校又は各種学校として設置・管理すること等に関する件	同
82	北海道星置養護学校に高等部の設置を求める件	同
86	劇団さっぽろ公演事業に対する助成の件	同

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○2月15日(火) 午後1時19分、議会運営委員会室において開議、午後1時23分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 決算特別委員会の審議状況について、前会より継続審査中の報告第1号は意見を付し認定議決とすることを決定し、審査を終了した旨報告の後、本件について、第1回定例会招集日当日の本会議において委員長報告を行い、議決する扱いとすることに決定。
- ③ 議案調査のため、2月17日から2月21日まで休会し、2月22日再開することに決定。
- ④ 2月16日の本会議の議事順序については、明日協議することとした。

○2月16日(水) 午前9時51分、議会運営委員会室において開議、午前9時52分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 予算特別委員会の委員名簿の提出について、2月23日正午までとすることを了承。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

(開会)

- 日程第1 会議録署名議員の指定  
諸般の報告  
元議員の逝去報告
- 日程第2 会期決定の件(2月16日から3月7日まで20日間)
- 日程第3 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号

提出議案に関する知事の説明

日程第4 前会より継続審査の報告第1号  
決算特別委員長の報告

(討論)

1. 本会議員の報告第1号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 報告第1号を問題とし、委員長報告(意見を付し認定議決)のとおり決することについて起立により採決  
(共産反対)

議案調査のための休会日の決定

(2月17日から2月21日まで)

○2月22日(火) 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後4時29分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、追加提案案件に関する説明の後、2月23日追加提案することを了承。
- ② 代表質問の通告(4人)について報告。本日2人、明日2人とすることに決定。
- ③ 一般質問の通告(8人)について報告。順位は従前の例によることとし、各派内における順位に変更ないことを確認。個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、23日2人、24日4人、25日2人とすることに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時51分休憩、午後4時28分再開。

### ▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号  
質疑並びに一般質問(代表質問2人)

- ⑤ 総務部長から、舟山広治議員(社会)の再質問に対する知事の答弁準備になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することに決定。

○ 2月23日（水） 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午後2時25分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における舟山広治議員（社会）の再質問に対する知事の答弁準備におお時間を要する旨発言があつて、午前9時45分休憩、午後2時20分再開。
- ② 総務部長から、答弁準備が出来た旨発言があり、本日の本会議は舟山広治議員（社会）の再質問に対する知事答弁から入ることを決定。
- ③ 総務部長から、追加提出議案（16件）について説明の後、代表質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として知事の提案説明を行うことに決定。
- ④ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ⑤ 本日の本会議について、代表質問は継続質問1人を含め4人となるが、進め方については、進行状況により協議することを了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号  
質疑並びに一般質問（代表質問4人・内1人継続）

○ 2月24日（木） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、湯田倉治議員（道政）の代表質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として追加提出議案に関する知事の提案説明を行い、引き続き一般質問に入り6人行うこととし、進め方については、進行状況により協議することを了承。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第1号ないし第3号  
質疑並びに一般質問（代表質問1人）

◎ 日程第1の議事中止

追加日程 議案第36号ないし第51号  
追加日程を一括議題として議事継続

◎ 日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続

質疑並びに一般質問（一般質問6人）

○ 2月25日（金） 午前10時15分、議会運営委員会室において開議、午後1時42分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問6人終了後、予算特別委員会の設置及び議案の各委員会付託等を行うこととし、進め方については、進行状況によりあらためて協議することを了承。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第51号及び報告第1号ないし第3号  
質疑並びに一般質問（一般質問6人）

- ④ 総務部長から、永澤副知事が札幌で開催される参議院予算委員会地方公聴会へ出席のため、本日の本会議を3時間程度欠席する旨発言があつて了承。午前10時20分休憩、午後1時41分再開。
- ⑤ 一般質問について、当初日程は本日までとなっているが、明日も引き続き行うことをはかり決定。

○2月26日(土) 午前10時37分、議会運営委員会室において開議、午前10時42分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における藤井虎雄議員(社会)の再再質問に対する知事の補足答弁を行いたい旨及び答弁準備になお時間を要する旨発言があり、本日の本会議は藤井議員の再再質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。
- ② 一般質問について、本日3人行うことを決定。
- ③ 予算特別委員会について、委員の選任は配付の名簿のとおり本日の本会議において選任すること、設置動議は和田勝之議員(自民)に提出願うことを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑤ 意見案第1号の提出があった旨報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑥ 各委員会付託議案審査のため、2月28日から3月5日まで休会し、7日再開することをはかり決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

日程第1 議案第1号ないし第51号及び報告第1号ないし第3号  
質疑並びに一般質問(一般質問3人)

(質疑終結宣告)

- 予算特別委員会設置
- 予算特別委員の選任
- 議案第32号を総合開発調査特別委員会に付託することについて簡易採決
- 残余の議案の各委員会付託

追加日程 意見案第1号

意見案第1号 昭和58年度畜産物価格等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

各委員会付託議案審査のため休会の決定  
(2月28日から3月5日まで)

○3月7日(月) 午後4時1分、議会運営委員会室において開議、午後8時50分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 文教林務委員会及び総合開発調査特別委員会における付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は取りあえず会議時間を延長することに決定。午後4時1分休憩、午後8時38分再開。
- ② 委員長から、元道会議員土田己之助氏(網走支庁選出、第11期)の逝去(2月28日)について報告。
- ③ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ④ 緊急質問について、樺林巖議員(社会)及び本間喜代人議員(共産)から通告があったことを報告。本件については、本日の本会議において追加日程として行うことをはかり異議なく決定。順位については、申し合せに基づき行うことをはかり決定。
- ⑤ 輪島幸雄議員(社会)ほか26人から提出の、議案第1号、第36号及び第44号を撤回し、組替えのうえ再提出を求める動議、並びに、本間喜代人議員(共産)ほか1人から提出の、議案第1号、第14号ないし第17号、第36号ないし第38号及び第40号ないし第45号を撤回し、組替えのうえ再提出を求める動議について、報告の後、本日の本会議に上程する扱いとすることに決定。
- ④ 総務部長から、本日の本会議において知事のあいさつを行いたい旨発言の後、異議なく了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

元議員の逝去報告

追加日程 北海道発展計画点検報告に関する緊急質問(2人)

日程第1 議案第1号ないし第51号及び報告第1号ないし第3号

予算特別、総務、厚生、農務、  
文教林務、総合開発調査特別、  
建設各委員長の報告

1. 輪島幸雄議員の議案第1号、第36号及び第44号については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるの動議に関する説明
2. 本間喜代人議員の議案第1号、第14号ないし第17号、第36号ないし第38号及び第40号ないし第45号については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるの動議に関する説明(討論)

1. 佐々木行雄議員の輪島議員ほか26人提出の動議並びに本間議員ほか1人提出の動議に関する反対討論
2. 吉野之雄議員の輪島議員ほか26人提出の動議に関する賛成並びに本間議員ほか1人提出の動議に関する反対討論
3. 小野秀夫議員の輪島議員ほか26人提出の動議並びに本間議員ほか1人提出の動議に関する反対討論
4. 川崎守議員の本間議員ほか1人提出の動議に関する賛成並びに輪島議員ほか26人提出の動議及び議案第23号、第28号、第32号、第48号、報告第1号ないし第3号に関する反対討論

(討論終結宣告)

1. 本間議員ほか1人提出の動議を問題とし、起立により採決  
(自民、社会、道政、公明反対)
2. 輪島議員ほか26人提出の動議を問題とし、起立により採決  
(自民、道政、公明、共産反対)
3. 議案第1号、第36号、第44号、第48号及び報告第1号ないし第3号を問題とし、委員長報告(議案はすべて可決、報告はすべて承認議決)のとおり決することについて、起立により採決  
(社会、共産反対)
4. 議案第14号ないし第17号、第23号、第28号、第32号、第37号、第38号、第40号ないし第43号及び第45号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、起立により採決

(共産反対)

5. 議案第2号ないし第13号、第18号ないし第22号、第24号ないし第27号、第29号ないし第31号、第33号ないし第35号、第39号、第46号、第47号及び第49号ないし第51号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて、簡易採決

日程第2 議案第52号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

議案第52号 北海道土地利用審査会  
委員の選任につき同意  
を求める件

日程第3 意見案第2号ないし第4号

意見案第2号 理容師法・美容師法・クリーニング業法の資格免許制度堅持に関する要望意見書

意見案第3号 中小企業の経営危機打開に関する要望意見書

意見案第4号 所得税減税に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 請願、陳情審査の件

(採択3件)

(委員長報告省略)

(採決)

1. 本件をいずれも請願、陳情審査報告書(採択)のとおり決することについて簡易採決

○閉会申請願継続審査の件

文教林務委員長から申し出のとおり請願第189号について閉会中継続審査に付することについて、起立により採決

(社会、共産反対)

○閉会中事務調査の件

各常任委員長から申し出のとおり、  
閉会中継続調査に付することについて  
簡易採決

○知事のあいさつ

○議長のあいさつ

○閉会宣言

⑥ 議会運営に関する検討事項について、理事会において検討を行ってきた事項中「議会広報の実施について」の扱いは、議長にお願いすることとし、その他の事項については次期の議会で改めて検討すること及び次期議運に対しては特に申し送り事項として引継がない扱いとなったことを報告。本件については、理事会決定のとおり取り扱うことをはかり決定。

⑦ 総務部長から、道税条例の一部を改正する条例案について説明の後、地方税法改正案の成立公布が議会閉会中に行われる見込みなので、道税条例の改正を専決処分扱いとした旨を説明。本件についてはかり、異議なく了承。

## 常 任 委 員 会

### 総 務 委 員 会

○2月15日（火） 午後1時31分、第5委員会室  
において開議、午後1時51分  
散会

委員長 青山 正男（自民）

#### 一 般 議 事

- ① 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 総務部長から、老人保健法の施行に伴う札幌医科大学附属病院使用料条例一部改正の専決処分について報告。

○2月22日（火） 午後4時38分、第5委員会室  
において開議、午後4時40分  
散会

委員長 青山 正男（自民）

#### 一 般 議 事

- 総務部長から、第1回定例会追加提出予定案件について説明。

○3月7日（月） 午後3時23分、第5委員会室  
において開議、午後3時39分  
散会

委員長 青山 正男（自民）

#### 付託案件の審査

- ① 議案第18号（北海道立開拓の村条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第19号（北海道職員の勤務時間及び休暇等に対する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第21号（北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例案）を議題とし、開発調整部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第22号（北海道立野幌森林公園駐車場条例の一部を改正する条例案）を議題とし、生活環境部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。

決することに決定。

- ⑤ 議案第31号（昭和58年4月10日執行の北海道議会議員の一般選挙における公職選挙法第144条の4の規定の適用に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。
- ⑥ 議案第48号（財産の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ⑦ 議案第51号（財産の処分に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、原案のとおり可決することに決定。
- ⑧ 報告第1号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、総務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって、承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願・陳情の審査

##### 陳情

- 第90号 国鉄池北線・名寄本線・湧網線の存続に関する件（採択）
- 第64号 郵便貯金の現行制度存続に関する件（議決不要）
- 第65号 「貯貯懇を見守ること」に関する件（議決不要）
- 第66号 郵便貯金の現行制度存続に関する件（議決不要）
- 第70号 郵便貯金問題に関する件（議決不要）
- 第74号 江別市選出の道議会議員の定数増員に関する件（議決不要）
- 第75号 総合助燃触媒ターボエース（灯油用）に係るテスト結果の相違を解決する方策に関する件（議決不要）

残余の請願、陳情については、理事会で協議の結果、結論を得るに至らないと判断されるので、審査はこの程度に止めることをはかり、異議なく決定。

#### 一般議事

- ① 委員長から、所得税減税に関する要望意見案について、配付の案文により発議すること

をはかり、異議なく決定。

- ② 委員長から、所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○3月8日（火） 午前10時35分、第5委員会室において開議、午前10時48分散会  
委員長 青山 正男（自民）

#### 一般議事

- ① 総務部長から、北海道税条例の一部を改正する条例案を専決処分することについて説明。
- ② 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要がある場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

#### 厚生委員会

○2月15日（火） 午前10時29分、第9委員会室において開議、午後3時40分散会  
委員長 石山 直行（自民）

#### 請願・陳情の審査

##### 請願

- 第175号 老人医療の有料化と所得制限の強化に反対し、高齢者の健康と医療を守ることにに関する件（保留）
- 第188号 老人医療費無料制度の継続と拡充を求める件（保留）
- 第175号 第188号について、

川崎守委員（共産）から、老人保健法の施行に関し、特例許可病院及び許可外病院の実態把握の時期、特例許可病院、許可外病院及び基準看護病院の関係、特例許可病院の要件、老人保健法の規定による医療の取扱い及び担当に関する基準第2条の医療の取扱方針、第10条の保険医療機関から市町村長への通知、第17条の施術の同意及び20条の診療の具体的方針についての考え方、病院の退院患者に対する継続看護指導

に関し、現体制下での看護婦等の訪問看護指導に対する疑問、訪問看護婦の資格、病院の訪問看護指導体制を援護する市町村等の体制についての理解、法律の施行に伴う問題点に対する見解について  
質疑及び意見があり衛生部長から答弁の後、結論を保留することに決定。

#### 一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 湯本芳志委員（社会）から、道費補助団体に関し、道視連発行の機関紙「祝点」の執筆者名、不適切記事掲載に対する指導経過について  
質疑、意見及び要望があり民生部長から答弁。

○3月7日（月） 午後3時6分 第9委員会室  
において開議、午後3時16分  
散会  
委員長 石山 直行（自民）

#### 付託案件の審査

- ① 議案第23号（北海道ウタリ子弟大学等修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（共産反対）をもって、原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第24号（北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第25号（北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 報告第2号及び第3号（いずれも専決処分報告につき承認を求める件）を一括議題とし、衛生部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共産反対）をもって、原案のとおり可決することに決定。  
付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 委員長から、本委員会に付託されていた請願第182号（はり、きゅう、マッサージを医療として正しく位置づけ視力障害者の仕事と生活を守る件）及び陳情第5号（有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件）については、付託が取り消された旨報告。残余の請願、陳情については、理事会で協議の結果、結論を得るに至らないと判断されるので、審査はこの程度に止めることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継統調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、理容師法・美容師法・クリーニング業法の資格免許制度堅持に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

○3月8日（火） 午前10時35分 第9委員会室  
において開議、午前10時40分  
開会  
委員長 石山 直行（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要がある場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、理容師法・美容師法・クリーニング業法の資格免許制度堅持に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

#### 商工労働委員会

○2月15日（火） 午前10時25分、第8委員会室  
において開議 午前10時51分  
散会  
委員長 藤井 虎雄（社会）

#### 一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第1回定例会提出予定案件について説

明。

○3月7日(月) 午後3時25分、第8委員会室  
において開議 午後3時27分  
散会  
委員長 藤井 虎雄(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、中小企業の経営危機打開に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託された請願、陳情については、理事会で協議の結果、結論を得るに至らないと判断されるので、審査はこの程度に止めることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○3月8日(火) 午前10時26分、第8委員会室  
において開議、午前10時31分  
散会  
委員長 藤井 虎雄(社会)

#### 一般議事

- 委員長から、本委員会の調査事件について今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要がある場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

### 農務委員会

○2月15日(火) 午前10時43分、第7委員会室  
において開議、午前11時16分  
散会  
委員長 若狭 靖(自民)

#### 一般議事

- ① 農務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 渋谷澄夫委員(社会)から、食糧庁開催の「生産者米価算定に関する懇談会」に関し、内容の把握、道の対応について質疑があり農務部長から答弁。
- ③ 岡本栄太郎委員(社会)から、「キタヒカリ」が品切れになった場合の道の対処について、

質疑があり、農務部長から答弁。

○2月24日(木) 午後零時49分、第7委員会室  
において開議、午後零時51分  
散会  
委員長 若狭 靖(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、昭和58年度畜産物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○3月7日(月) 午後3時20分、第7委員会室  
において開議、午後3時25分  
散会  
委員長 若狭 靖(自民)

#### 付託案件の審査

- 議案第26号(北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例案)及び議案第49号(財産の取得に関する件)を一括議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願・陳情の審査

##### 陳情

第29号 道立中央農業試験場江部乙りんど  
試験地存続の件

委員長から、本件について理事会で協議の結果、結論を得るに至らないと判断されるので、審査はこの程度に止めることをはかり、異議なくそのことに決定。

#### 一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○3月8日(火) 午前10時55分、第7委員会室  
において開議、午前11時13分  
散会  
委員長 若狭 靖(自民)

## 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した昭和58年度畜産物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会開催の必要が生じた場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ③ 神本三也委員（社会）から、農業振興施策の運用の徹底及び関係機関に対する指導の強化について  
質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

## 建 設 委 員 会

- 2月15日（火） 午前10時32分、第4委員会室  
において開議、午前10時50分  
散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

## 一 般 議 事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- 3月7日（月） 午後3時10分、第4委員会室  
において開議、午後3時16分  
散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

## 付託案件の審査

- ① 議案第33号ないし第35号（いずれも財産の処分に関する件）を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第47号（河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

## 一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 3月8日（火） 午前10時30分、第4委員会室  
において開議、午前10時40分  
散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

## 一 般 議 事

- 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要が生じた場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

## 農 地 開 発 委 員 会

- 2月15日（火） 午前11時15分、第3委員会室  
において開議、午前11時54分  
散会  
委員長 伊藤 豪（道政）

## 一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 農地開発部長から、第三次土地改良長期計画の概要について報告の後、  
青木延男委員（社会）から、第2次長計における北海道枠確保の取組みの経過と経緯、第3次長計における国及び第2次を踏まえての知事の取り組み姿勢及び議会側との関連、採択基準緩和について政府への働きかけ、  
笠島保委員（社会）から、第3次における期待の予算枠、  
土屋良三委員（自民）から、閣議における都道府県枠の決定の見通し、  
大平秀雄委員（自民）から、農家負担の軽減を考慮した計画と事業実施、土地改良事業計画樹立の方策（関連して、笠島保委員（社会）から、生産性の向上を考慮した基盤整備事業について）  
佐藤静雄委員（自民）から、工事の基準緩和について、  
質疑意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

- 3月7日（月） 午後3時17分、第3委員会室  
において開議、午後3時14分  
散会

委員長 伊藤 豪（道政）

#### 一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継統調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 3月8日（火） 午前11時、第3委員会室において開議、午前11時5分散会  
委員長 伊藤 豪（道政）

#### 一 般 議 事

- 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要が生じた場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

### 水 産 委 員 会

- 2月15日（火） 午前10時26分、第6委員会室において開議、午前10時33分散会  
委員長 新沼 浩（自民）

#### 一 般 議 事

- 水産部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- 3月7日（月） 午後3時26分、第6委員会室において開議、午後3時28分散会  
委員長 新沼 浩（自民）

#### 一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、理事会で協議の結果、結論を得るに至らないと判断されるので、審査はこの程度にとどめること及び所管事務について、閉会中継統調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 3月8日（火） 午前10時50分、第6委員会室において開議、午前10時55分散会  
委員長 新沼 浩（自民）

#### 一 般 議 事

- 委員長から、本委員会の調査事件につい

て、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要が生じた場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

### 文 教 林 務 委 員 会

- 2月15日（火） 午前11時15分、第10委員会室において開議、午前11時48分散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

#### 一 般 議 事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 熊谷克治委員（社会）から、私立高校の学校納付金に関し、値上げの動向及び値上げ抑制のための対応経過、私学振興協会からの助成の要望額と予算措置との関連、私学助成費の今後の見通しについて  
質疑があり、学事課長から答弁。

- 3月7日（月） 午後6時、第10委員会室において開議、午後6時21分散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

#### 付託案件の審査

- 議案第27号（北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第50号（財産の取得に関する件）を順次議題とし、教育長から説明の後、異議なくいずれも原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願・陳情の審査

##### 請 願

第189号 私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅な私学助成を求める件（保留）

本件について、熊谷克治委員（社会）及び本間喜代人委員（共産）から、紹介議員が全会派にわたっているため、採択とすべき旨並びに吉川貴盛委員（自民）及び小野秀夫委員（道政）から、継続審査とすべき旨の意見があり、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共

産反対)をもって本件は閉会中継続審査とすることに決定。

残余の請願、陳情については、理事会で協議の結果、結論を得るに至らないと判断されるので、審査はこの程度に止めることをはかり、異議なく決定。

#### 一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 3月8日(火) 午前11時14分、第10委員会室において開議、午前11時21分散会  
委員長 中田 繁夫(社会)

#### 一般議事

- 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要がある場合は、理事会にはかり措置するので委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

## 特別委員会

### 総合開発調査特別委員会

- 2月15日(火) 午後2時15分、第1委員会室において開議、午後2時18分散会  
委員長 吉田 政一(自民)

- 開発調整部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- 3月7日(月) 午後6時37分、第1委員会室において開議、午後7時26分散会  
委員長 吉田 政一(自民)

#### 付託案件の審査

- 議案第32号(二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件)を議題とし、開発調整部長から説明の後、川崎守委員(共産)から、苦東開発に関し、先行取得する工業用水を必要とする企業立地の見通しと可能性の根拠、ダム建設に伴う水産資源保護と地元漁協の反対について質疑があり、開発調整部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(共産反対)をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### その他の議事

- ① 開発調整部長から、北海道発展計画の点検について説明の後、神本三也委員(社会)から、点検報告を議事に提出する時期が遅れた理由、北海道総合開発委員会における審議と本委員会に提出した北海道発展計画点検報告との関連について質疑があり、開発調整部長から答弁の後、神本委員から委員長に対し知事に対する緊急質問について措置要求があり、委員長から、議長に申し入れをすることとし、委員長に一任することを図り、異議なく決定。
- ② 委員長から、本委員会の調査事件について、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員会を開催する必要がある場合は、理事会にはかり協議することとし、委員長に一任する

ことをはかり、異議なく決定。

### 石炭対策特別委員会

- 2月15日（火） 午後2時4分、第11委員会室  
において開議、午後2時17分  
散会  
委員長 宇川 源吉（自民）
- ① 委員長から、さきに行われた空知炭鉱株式会社  
の災害に係る殉職者の合同葬出席の概要  
について報告書により報告、異議なく了承。
  - ② 商工観光部長及び労働部長から、第1回定  
例会提出予定案件について説明。
  - ③ 商工観光部長から、北炭真谷地炭鉱及び空  
知炭鉱の災害に関し報告。

### 北方領土対策特別委員会

- 2月15日（火） 午後1時32分、第3委員会室  
において開議、午後1時37分  
散会  
委員長 小沢 栄吉（自民）
- 領対本部長から、第1回定例会提出予定案  
件について説明。
- 3月8日（火） 午前11時31分、第3委員会室  
において開議、午前11時41分  
散会  
委員長 小沢 栄吉（自民）
- ① 委員長から、さきに実施した北方領土返還  
促進に関する中央要請等の概要について報告  
書により報告、異議なく了承。
  - ② 領対本部長から、「北方領土問題等の解決  
の促進のための特別措置に関する法律」の施  
行について報告。
  - ③ 委員長から、本委員会の調査事件につい  
て、今後緊急かつ重要な問題が発生し、委員  
会を開催する必要が生じた場合は、理事会に  
はかり措置するので委員長に一任されたい旨  
をはかり、異議なく決定。

### 公害対策特別委員会

- 2月15日（火） 午後1時58分、第2委員会室  
において開議、午後2時9分  
散会  
委員長 高木 繁光（自民）
- ① 生活環境部長から、昭和58年第1回定例会  
提出予定案件について説明。
  - ② 生活環境部長から、出光興産株式会社北海  
道製油所及び日本軽金属株式会社苫小牧工場  
に係る公害防止協定の改定について報告。

## 予算特別委員会

○2月26日(土) 午後零時36分、第1委員会室  
において開議、午後零時44分  
散会  
委員長 武部 勤(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 東典俊臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてははかり、吉野之雄委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって武部勤委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、佐藤静雄委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって神本三也委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後零時41分休憩、午後零時44分再開。休憩中協議の結果、今後の審査日程についてははかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ④ 質疑の方法について、通告の形式により一括して行うこと、なお、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、一般質問の例に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員外議員の発言について、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後にこれを許可することに決定。
- ⑥ 議席についてははかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、自民から佐藤静雄委員及び青山章委員、社会から吉野之雄委員及び輪島幸雄委員、道政は湯田倉治委員、公明は浅野俊一委員をそれぞれ選出。

○2月28日(月) 午後1時34分、第1委員会室  
において開議、午後4時53分  
散会  
委員長 武部 勤(自民)

- ① 農地開発部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員(社会)から、

- (1) 農業基盤整備事業の推進に関し、基本的な考え方、湛水防除事業の実施について58年度実施予定地区、今後の計画概要、石狩川治水計画との関係、農村道路の整備関係予算
- (2) 汎用耕地化に関し、目標面積及び実績、今後の事業推進方策
- (3) 農用地開発に関し、今後の推進方策、最近の実績、減少理由等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があつて企業局及び農地開発部所管に対する質疑を終結。

- ② 衛生部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員(社会)から、

北海道保健医療基本計画に関し、発展計画の点検に伴う医療基本計画の見直し作業の進捗状況、地域特性を把握するための実態調査の進捗状況、老人保健法の施行に伴う具体的施策、医師会病院の実態及び設置の目的、同病院に対する道の考え方、地域センター病院の医師確保の具体的政策の考え方等について

保格 博夫委員(社会)から、

根室市立病院問題に関し、累積欠損金の年次別推移の状況、累積赤字発生要因、同病院の全国自治体病院協議会の経営診断と市の健全経営策に対する道の考え、再建に係わる見通し及び対応策、同病院に対する国や道の補助金の有無、再建についての道の基本的な考え方及び指導の原点等について

舟山 広治委員(社会)から、

保健所行政に関し、旭川保健所新築期成会の発足に対する道の受け止め、道の関与の有無、保健所職員の出席の有無、保健所長の言動に係る行政の一貫性、政令市に指定し保健所を設置する考え、総合行政推進の行政姿勢に対する受け止め等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて衛生部所管に対する質疑を終結。

○3月1日(火) 午前10時10分、第1委員会室  
において開議、午後5時16分  
散会  
委員長 武部 勤(自民)

① 水産部所管に対する質疑に入り、

長岡 寅雄委員（社会）から、

韓国漁船の操業問題に関し、水産庁と外務省との連絡関係、国、道、現地漁民それぞれの認識の仕方、現行協定を取り決めた際の対応、韓国、西日本関係県及び道の漁獲高等、漁業水域法適用についての考え方、被害補償の早期解決等について

舟山 広治委員（社会）から、

- (1) 支笏湖内水面漁業に関し、歴史的な経過、漁業権設定問題、任意組合設立の是非
- (2) 水産試験研究体制に関し、水産ふ化場本場の恵庭移転にあたり自衛隊の影響、ふ化場の名称変更の検討等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

神本 三也委員（社会）から、

- (1) 林業政策の推進に関し、本道林業の現状認識と今後の振興策、道内国有林蓄積量の減少に対する見解及び緑資源確保のための国有林経営に対する働きかけの経過
- (2) 森林組合の育成に関し、森林組合の経営状況と育成指導の取り組み、北海道森林組合連合会の再建状況及び同連合会が行う組合指導事業に対する道の助成の考え方と成果、特別対策事業における作業班の整備と賃金の実態、組合の広域合併対策の取り組み及び合併組合の経営状況
- (3) 林業労働災害に関し、死亡災害等の防止のため民間請負業者に対する指導監督の強化策、振動障害の防止及び労働条件の充実の指導等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

③ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

委員長から、委員外議員本間喜代人議員より質疑通告の取り下げがあった旨報告。

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) ソ連原子炉衛星落下に伴う放射能の影響に対する見解
- (2) 電力需要に関し、需要想定の根拠、電源の多様化と原発推進のかかわり、原発運開と設備過剰に対する見解

(3) 発電コストに関し、電源別発電原価、石油火力と原子力原価の差に対する考え、原子力発電とその他設備を比べ安全性、信頼性及び経済性についての見解

(4) 低レベル放射性廃棄物海洋投棄に関し、ロンドン条約締結国会議の海洋投棄一時停止決議の意義と理由、反対6カ国にわが国が入っていることについての見解及びわが国の対応、道の取り組み

(5) 低レベル放射性廃棄物貯蔵施設に関し、日本開発銀行の融資計画内容の把握、立地地点幌延の報道に対する的確性、廃棄物の処理処分の方法

(6) 使用済核燃料の輸送に関し、東海村の再処理工場の休止原因と理由、海外への輸送方法、専用船の安全性についての認識、「日の浦丸」の実績及び日本近海で沈没した場合の影響、キャスク（放射性物質貯蔵輸送専用容器）の安全性と実証試験等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

④ 労働部所管に対する質疑に入り、

櫻林 巖委員（社会）から、

- (1) 道内の雇用情勢と求人倍率の現況及び失業率の実態
- (2) 学卒就職対策に関し、新規高校卒業者の就職動向と就職対策の考え、未就職者の多い原因
- (3) 胆振管内の企業動向に関し、日軽金剛小牧工場の企業縮小に伴う雇用への影響、志村化工(株)伊達工場閉鎖後の再就職と職業訓練校への入校に対する考え、新日鉄(株)室蘭製鉄所第一高炉の休止に伴う雇用状況と余剰人員及び関連企業への影響
- (4) 特定不況二法に関し、失効後における対応について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

○3月2日（水） 午前10時14分、第1委員会室において開議、午後4時29分散会  
委員長 武部 勤（自民）

① **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

**輪島 幸雄委員（社会）**から、

行政の文化化に関し、地方自治体における文化化の取り組み状況と北海道の現況、文化化の指針作成の状況と成案の見通し、文化化実施に当たっての体制拡充の考え、モデル事業実施の考え等について

**関根 建二委員（社会）**から、

- (1) 自然環境の保護に関し、北海道におけるナショナル・トラスト運動に対する認識、バードサンクチュアリ、オホーツクの村、知床百平米運動の現状、管理運営費の市町村負担に対する道の見解及び行政の支援の基本的姿勢、住民の自然保護活動の実態調査実施の考え
- (2) 環境アセスメントの手續に関し、環境影響評価法案の成立見通し及び道条例と国の法案との整合性、法案成立についての中央公害対策審議会の意見表明に対する見解、他都県の条例と道条例の相違点、道条例運用にかかる検討の考え等について

**保格 博夫委員（社会）**から、

- (1) 環境保全対策に関し、CNPの使用状況及び土壌残留状況、農薬による環境汚染調査に取り組む考え、ゴミ焼却炉から排出されるダイオキシンの処理についての実態把握の考え
- (2) デポジットに関し、デポジット制度採用にかかる道の姿勢及び空き缶問題対策協議会の検討状況等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

**保格 博夫委員（社会）**から、

- (1) 外国人の教員登録問題に関し、他府県の実態と道教委の検討状況、国会における大平前総理大臣の答弁と文部省通達に対する見解、文部省が実施している英語指導主事の助手配置事業の受け入れ状況
- (2) 公立学校教員の採用に関し、選考試験の実態と問題点、選考方法改善の考え方
- (3) 障害児教育に関し、特殊学校高等部の整備に対する取り組み、就学猶予児の実態及び今後の特殊教育条件整備の考え方

- (4) 高校生の海外研修の実態、復学時の取り扱い等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

③ **民生部所管に対する質疑**に入り、

**吉田 英治委員（社会）**から、

- (1) 老人保健法に関し、同法の目的と退院後の老人医療及び介護等在宅福祉の対応策、中間施設を設置する考え
- (2) 国民健康保険事業に関し、道内市町村の決算状況と保険料負担の実態及び市町村間の負担格差に対する見解、国保財政健全化のための対応策及び道費助成の増額の考え
- (3) 国民年金事業に関し、加入者減少の理由、保険料と年金額との関係、今後の国民年金制度のあり方
- (4) 福祉村の建設に関し、第2期計画の視点と今後の障害者福祉対策の基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

○3月3日（木） 午前10時13分、第1委員会室において開議、午後4時33分散会

委員長 武部 勤（自民）

① **農務部所管に対する質疑**に入り、

**吉野 之雄委員（社会）**から、

- (1) 農家の負債対策に関し、今後の対処の仕方、負債増加の要因、補助事業のあり方、災害による経営悪化についての対処、道の農業行政としてできる範囲
- (2) 農業資材対策に関し、外国製トラクターと国産トラクターとの比較、関税及び管理価格等価格構造、経済構造の見直し等について

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

- (1) 輸入粗飼料に関し、最近の輸入状況、本道の需給状況、金属病発生の実態、道内における粗飼料の増産体制の整備、稲わらの輸入実態、稲わらの道外への移出
- (2) 輸入食糧の安全性に関し、安全性のチェック、輸入食品の危険性PRの必要性
- (3) 冬野菜の確保に関し、暖冬異変のもたら

した供給過剰による他府県からの荷引き状況及び現状、野菜農家に対する助成、北海道特産の新品種開発

- (4) 農業発展方策に関し、食糧需要の変化の要因、米の過剰基調と現在の在庫との関係、経済界からの農業過保護論、道として責任ある農政の展開等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

- ② 開発調整部所管に対する質疑に入り、  
輪島 幸雄委員（社会）から、

「青函博」に関し、青函トンネル開通記念として「青函博」等諸行事開催についての道の基本的な考え方、地元の意向等に対する道の対応等について

吉田 英治委員（社会）から、

発展計画に関し、点検の目的と作業の進捗、北海道の将来に対する視点、先端技術産業導入の基盤づくりについての条件と対応に対する見解、国際化社会に対応する教育研究機関の整備に対する見解、教育・研究機構についての考え方と道内研究機関の活用に対する見解、商品の流通過程における今後の対策方策、新計画策定のための基本的調査の体制づくりに対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって開発調整部所管に対する質疑を終結。

- ③ 土木部所管に対する質疑に入り、  
萩上 元春委員（社会）から、

(1) 第9次道路整備5箇年計画に関し、第8次道路整備5箇年計画の達成率及び事業量、本道における道路整備の状況、市町村道の整備を促進する考え、第9次5箇年計画の投資規模及び施策内容、計画に対する道の基本方針と本道枠の見通し

(2) 冬季交通の確保に関し、除雪作業の出動基準、除雪を委託する場合の除雪基準、委託路線及び業者数、道路管理者間の連携による除雪トラブルの解消策、市街地における排雪及び歩道の除雪に対する取り組み、山間地の道路におけるなだれ対策及び危険個所の周知徹底方

(3) スパイクタイヤ問題に関し、融雪後の粉じん等の処理対策、スパイクタイヤの使用

期間制限に対する見解及び今後の対応策等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部所管に対する質疑を終結。

- 3月4日（金） 午前11時4分、第1委員会室において開議、午後5時57分散会  
委員長 武部 勤（自民）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、  
湯本 芳志委員（社会）から、

(1) 調査活動に関し、統一地方選挙における候補者の後援会名簿収集の目的、収集活動の実態、収集活動が後援会活動に与える影響、憲法で保障する結社の自由との関連

(2) 交通問題に関し、オートマチック車に対する見解と導入状況、道内におけるオートマチック車の普及状況と交通安全対策、オートマチック車問題を全国会議に提起する考え、スポーツタイプ車両の交通事故状況、パワーアップ車両の販売等に対する見解、「西部警察」の北海道ロケに対する交通安全対策上構じた措置等について

質疑、意見及び要望があり警察本部長、刑事部長及び交通部長から答弁があって、公安委員会及び住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 選挙管理委員会所管に対する質疑に入り、  
湯本 芳志委員（社会）から、

統一地方選挙に関し、公務員の地位利用による選挙活動と公職選挙法抵触との関連等について

質疑及び意見があり、選挙管理委員長から答弁があって湯本芳志委員（社会）から、議事録精査を求める旨の発言があって、午後4時1分休憩、午後5時56分再開し直ちに散会。

- 3月5日（土） 午前10時23分、第1委員会室において開議、午後零時2分散会  
委員長 武部 勤（自民）

- (1) 選挙管理委員会所管に対する質疑を続行、選挙管理委員長から、昨日の湯本芳志委員（社会）の質疑に対する答弁があって選挙管理委員会所管に対する質疑を終結。

② 人事委員会所管に対する質疑に入り、

小野 秀夫委員（道政）から、

道職員の勤務時間に関し、国及び他府県の勤務時間の実態、人事委員会規則で定める1週44時間の勤務時間を改正する考え、勤務時間を短縮する考え、労働基本法第34条の地方公務員への適用除外に対する働きかけについて

質疑、意見及び要望があり、人事委員長から答弁があって人事委員会及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

③ 総務部所管に対する質疑に入り、

委員長から、本間喜代人議員（共産）からの本委員会への出席及び総務部所管に対する発言の申し出について委員の通告質疑終了後にこれを許可することをはかり、異議なく決定の後、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 特別豪雪地帯対策に関し、本道における指定状況と国土庁との対応、指定市町村拡大と道単独で助成する考え、指定基準の改正を国に要請する考え
- (2) 人事委員会勧告に関し、ILOにおける勧告の採択に対する把握と考え、道議会終了後に国の方針が出された場合の道対応、道独自で給与改定を実施することについての見解
- (3) 支庁庁舎問題に関し、支庁庁舎整備の基本的考え方、年次別整備計画、上川支庁庁舎改策計画等について

小野 秀夫委員（道政）から、

道職員の勤務条件に関し、勤務時間の改正を検討する考え、現行制度の実状と問題点、休憩時間の短縮に対する見解、地方公務員法第58条の改正と関係機関に要請する考え等について

本間 喜代人議員（共産）から、

予算編成に関し、骨格予算編成の基本的な考え方、私立高等学校の授業料の値上げに対する行政指導と助成の在り方、国保財政への道の助成の考え等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって総務部所管に対する質疑を終結。

○3月7日（月） 午前10時32分、第1委員会室において開議、午前11時58分閉会

委員長 武部 勤（自民）

① 知事に対する総括質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 低レベル放射性廃棄物の海洋投棄に関し、ロンドン条約締結国会議の決議についての見解、反対6カ国の中にわが国が入ったことについての見解、安全性についての考え
- (2) 低レベル放射性廃棄物貯蔵施設に関し、日本開発銀行の融資計画に係る報道の的確性、処理処分についての考え方
- (3) 人権問題に関し、人権凍結に対する考え方、ILOにおける勧告の採択にかかわる国の考え方に対する見解、道人事委員会の勧告を知事の行政責任において実施する考え等について

本間 喜代人議員（共産）から、

- (1) 予算編成方針に関し、骨格予算編成の基本的な考え方、私立高等学校の授業料等の値上げに対する指導の在り方
- (2) 国保制度の問題に関し、国保財政に対し道が助成する考えについて

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため午前11時35分休憩、午前11時52分再開。

② 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第36号及び第44号について意見の一致を見るに至らなかった旨及び議案第1号及び第44号について輪島幸雄委員（社会）ほか4人からこれを撤回し、組み替えの上再提出されたいとの動議が提出されている旨を報告の後、輪島幸雄委員（社会）から説明を行い、本動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもって否決と決定。

次に、輪島幸雄委員（社会）から、議案第1号、第36号及び第44号に関し少数意見を留保する旨発言。

次に、議案第2号ないし第17号、第20号、第28号ないし第30号、第37号ないし第43号、第45号及び第46号を一括問題とし、異議なく

原案可決。

- ③ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託案件の審査終了にあたってあいさつがあった。

## 決算特別委員会

○57年12月21日（火） 午後7時20分、第11委員会室において開議、午後7時28分散会  
委員長 若狭 靖(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 杉本栄一臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてははかり、湯本芳志委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって若狭靖委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、佐々木利昭委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって中田繁夫委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後7時25分休憩、午後7時26分再開。休憩中協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により運営すること及び共産については、オブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、佐々木利昭委員（自民）、木本由孝委員（自民）、湯本芳志委員（社会）、保格博夫委員（社会）、木下一見委員（道政）、高橋敏委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員会の申合せ事項（1. 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。但し、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。2. 発言の順位は本会議における一般質問に準ずること。3. 委員の交替は原則として認めないこと。4. 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。）についてははかり、異議なく決定。
- ⑤ 今後の運営方法及び審査日程等については、理事会において協議、決定することとした。

○12月24日（金） 午後6時57分、第11委員会室において開議、午後7時9分散会  
委員長 若狭 靖（自民）

- ① 議席についてはかり、配付の議席表のとおりとすることに異議なく決定。
- ② 次回から第1委員会室で会議を行うことを了承。
- ③ 報告第1号(昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件)を議題とし、総務部長から決算の概要について、代表監査委員から決算及び基金の審査意見について説明
- ④ 今後の日程について、別紙配付の日程のとおり取り進めることに決定。
- ⑤ 決算審査に必要な資料についてはかり、異議なく次の20項目を要求することに決定。
  - (1) 行政管理庁の指摘(要望等)事項と措置状況
  - (2) 会計検査院の指摘事項と措置状況
  - (3) 道監査委員の指摘事項と措置状況
  - (4) 企業誘致にかかる道税の課税免除額調
  - (5) 道立社会福祉施設の利用状況と収容区分調
  - (6) 出資金、基金内容調
  - (7) 道税不納欠損処分調書
  - (8) 信用保証協会保証実績、代位弁済額及び担保・無担保別調書、徴収不能による欠損(3カ年)
  - (9) 市町村振興基金及び市町村振興補助金の実績調
  - (10) 道職員、教職員及び警察職員の定員(実人員)調
  - (11) 職員の再就職についての調査
  - (12) 第3セクターの決算調
  - (13) 地方事務官制度の内容(部門別人員数、人件費、予算経理の実態)
  - (14) 団体補助金支給調書(交付金、助成金を含む)
  - (15) 超過負担調
  - (16) 各種審議会、委員会等の諮問と答中の内容調
  - (17) 補助事業における国、道、市町村その他負担状況調
  - (18) 社会福祉施設整備に係る国庫補助金の受入状況調
  - (19) 地方振興奨励費の支庁別市町村別内容調
  - (20) 道職員、教職員及び警察職員による不祥事故一覧

- ⑥ 要求資料について、1月12日まで提出するように決定。
- ⑦ 別紙配布の決算書面審査の方法に基づき書面審査会を開催することに決定。
- ⑧ 書面審査会の運営について、(1)書面審査室は第11委員会室に設置し、使用時間は午前10時から午後5時まで、ただし、土曜日は午前10時から正午までとする。(2)書面審査の方法は従前の例により、決算法定書類、証拠書類及び委員会要求に係る提出資料の閲覧並びに関係部局からの説明聴取により行い、書面審査室備え付け資料の室外への持ち出しは禁止する。以上により行うこととする。
- ⑨ 委員長から、付託の報告第1号について、閉会中継続審査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○58年1月12日(水) 午前10時36分、第1委員会室において開議、午前10時37分散会

委員長事故のため副委員長 中田 繁夫(社会)

- 副委員長から、12月24日の委員会決定に基づく要求資料の提出があった旨報告。

○1月19日(水) 午前10時26分、第1委員会室において開議、午後5時27分散会

委員長 若狭 靖(自民)

- 報告第1号を議題とし、総体質疑に入り、保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 道税に関し、道税見積りの妥当性、多額の収入未済額が生じた理由、税源の都市集中化に伴う人員配置の早急な見直し、不納欠損金の解消についての取り組み、所得税の脱税と道税との関連
- (2) 地域振興対策に関し、北海道・東北21世紀展望中間報告に対する見解、大規模開発の見直しと本道の地域開発の基本的考え方、幌延町における低レベル放射性廃棄物の保管施設設置構想とこれに対する道の態度決定時期、永久処分の場合反対する考え、地域振興奨励費補助金の執行状況と行政効果

- (3) 苫東開発に関し、苫小牧東部株式会社の経理状況と金利負担の軽減策、外国企業の誘致見直し、苫東開発のマスタープラン見直しの考え方
- (4) 北海道生薬公社に関し、56年度の経営状況、公社の事業目的と薬用作物の生産農家への寄与、再建のための抜本的な取り組み
- (5) 不用額に関し、56年度の不用額の内訳、管理職について人勸の完全実施をしなかったことに伴う不用額、今後の人勸尊重の考え方
- (6) 超過負担に関し、超過負担の現状と解消策
- (7) 団体補助金に関し、56年度の団体補助の件数及び金額、決算委員会の提出資料のあり方、研究学園都市誘致促進期成会・青函トンネル建設期成金等への補助見直しの考え方、各種工事の設計基準等に係る監査委員の指摘事項に対する改善状況
- (8) 行政効果の測定に関し、行政効果の測定に対する検討状況等について

**本間 喜代人委員（共産）**から、

- (1) 知事の政治姿勢に関し、自衛隊募集費、自衛隊員の職業訓練費の執行状況、3海峡封鎖問題に対する知事の所見、離島航路の現状と対策、小樽利札航路における大型船就航についての働きかけ
- (2) 行財政問題に関し、超過負担の実態と改善状況、機関委任事務制度についての検討結果、公共事業におけるC・Dランクの受注実績が低い理由、分離発注の拡大に対する見解、道退職職員の再就職先の受注額が増加していることに対する見解、泊原開発関係建設工事の地元優先発注について指導の考え方、苫東開発計画の現状と知事在任中に今後の方針を決定する考え方、石狩湾新港の入船状況と今後の見直し、苫東・石狩湾新港関連工事の地元業者への優先発注の考え方、公立高校の授業料値上げに対する見解等について

質問があり、知事、総務部長、水産部長、衛生部長、農務部長、労働部長、土木部長及び地方振興室長から答弁があり、知事に対する総括質疑を終結。

において開議、午後4時52分  
散会

委員長 若狭 靖（自民）

① **民生部所管に対する質疑**に入り、

**山家 勇委員（社会）**から、

- (1) 社会福祉施設に関し、道内の授産施設の実態、負債状況と健全な運営についての指導及び財政援助の考え方
- (2) 無認可保育所に関し、道内の無認可保育所の実態と解消のための隘路、今後の解消に対する取り組み
- (3) 寡婦対策に関し、公営住宅法の改正に伴う寡婦住宅建設中止と寡婦向け住宅の確保策
- (4) 外国からの帰国者対策に関し、道内における永住帰国者の実態、就労の場の確保策
- (5) 重度障害者のタクシー料金の助成に関し、助成の範囲と対象拡大の考え方
- (6) 国際障害者年の記念事業の推進に関し、関係部との連携及び財政対策等について

**湯本 芳志委員（社会）**から、

道視力障害者福祉連合会に関し、連合会への補助金額、道視連新聞の掲載記事の内容に対する見解、道の補助団体の発行誌において特定の政治的意見を掲載することの妥当性等について

**本間 喜代人委員（共産）**から、

老人医療の公費負担に関し、老人医療費給付事業の給付実績、老人保健法の施行に伴う医療の取扱い及び担当に関する基準の解釈、長期入院者の診療報酬の改正内容、老人の退院後の措置について適切な対処策等について質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があった民生部所管に対する質疑を終結。

② **衛生部所管に対する質疑**に入り、

**山家 勇委員（社会）**から、

- (1) 公衆浴場に関し、公衆浴場の確保と経営安定に対する見解、過疎地域における公設浴場方式に対する考え方
- (2) 保健所に関し、保健所長の兼務解消に対する見解、保健所の改築促進の考え方、食品衛生監視のあり方
- (3) 医師確保対策に関し、道内の医師数及び外国人医師数、過疎地における医師の適正

○1月27日（木） 午前10時30分、第1委員会室

配置の必要性、無医地区の解消に対する見解

- (4) 覚せい剤の取り締まりに関し、覚せい剤対策についての基本的考え方、民間との協力体制の強化
- (5) 衛生研究所及び公立病院の運営に関し、衛生研究所の機能充実・研究内容の公表に対する見解、公立病院の医師等の勤務条件の改善等について

保格 博夫委員（社会）から、

- (1) インフルエンザの集団予防接種に関し、札幌市衛生研究所のインフルエンザ予防接種の効果に係る報告書の受けとめ方、予防接種の効果の有無に対する見解、副作用についての把握状況、児童・生徒に義務的に予防接種を実施することに対する再検討の考え
- (2) エキノコックス症対策に関し、エキノコックス症患者の発生状況、要観察者の検診状況等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○1月28日（金） 午前10時24分、第1委員会室において開議、午後4時50分散会  
委員長 若狭 靖（自民）

① 衛生部所管に対する質疑の続行、

衛生部長から、昨日の保格博夫委員（社会）の質疑に対する答弁の後、引き続き、

保格 博夫委員（社会）から、

- (1) エキノコックス症対策に関し、根釧地域における要観察者の分布状況、今後の対策の重点
- (2) シンナー乱用防止対策に関し、道内におけるシンナー乱用の実態、有機溶剤の販売業者数、嫌臭シンナーの開発の状況及び普及に対する取り組み等について

本間 喜代人委員（共産）から、

老人保健法の施行に関し、道内の老人病院の数及び病床数、法施行に伴う体制整備の状況、診療の取扱い基準及び診療報酬基準の問題点等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて、衛生部所管に対する質疑を終結。

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

- (1) 信用保証協会の保証業務に関し、代位弁済後の求償権の行使方法、担保権実行のあり方
- (2) 道産品の販路拡大に関し、ロサンゼルス駐在員の役割と効果、道貿易物産振興会との連携、道産品の販路拡大に対する積極的な取り組みの必要性

保格 博夫委員（社会）から、

放射性廃棄物の処理に関し、下川町での高レベル廃棄物の岩石透水性試験の状況、幌延町の低レベル廃棄物貯蔵施設設備構想と町の誘致の意向に対する道の対応、国から道への意向打診の有無、自然公園の候補地との関連、国の試験研究のスケジュールと道の態度決定時期、奥尻への再処理工場誘致に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があつて、商工観光部所管に対する質疑を終結。

③ 労働部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

- (1) 雇用問題に関し、本道における身障者の法定雇用率達成状況と雇用率の低い企業に対する指導及び公表の考え方、本道の高齢者の雇用情勢と定年延長の実施状況、シルバー人材センターの増設の考え、特定不況地域の離職者対策
- (2) 労働災害に関し、公共工事に係る労働災害のデータ整備の状況、労働災害防止団体の事業内容、労働災害防止に係る国との連携
- (3) マイクロ・エレクトロニクス化に関し、道内におけるMEの導入状況と雇用への影響、労働密度の強化・作業の単純化に伴うストレス解消についての対策等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があつて労働部所管に対する質疑を終結。

○2月1日（火） 午前10時22分、第1委員会室において開議、午後3時12分散会  
委員長 若狭 靖（自民）

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

山家 勇委員（社会）から、

- (1) 道監査委員の指摘事項に関し、指摘内容  
と措置状況
- (2) 道営住宅に関し、空き家の現況と解消策、  
住戸改善事業の実施状況と促進の必要性、  
郡部における建設促進、家賃の決定方法と  
低廉化に対する見解、福祉住宅の建設計画、  
駐車スペース等の確保策
- (3) 炭鉱改良住宅等に関し、家賃の不均衡是  
正の考え、改良住宅の建設実績と今後の計  
画、炭鉱老朽廃屋の除去対策
- (4) ウタリ住宅に関し、ウタリ住宅の改善の  
実績と今後の計画
- (5) がけ地近接危険住宅移転事業に関し、危  
険住宅の実態と移転事業の取り組み
- (6) 寒地建築研究所に関し、住宅の断熱化・  
建築工事の冬期施行技術・太陽熱の利用住  
宅等の研究成果、民間研究機関等との連携

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 工事の分離・分割発注に関し、高校校舎  
・道営住宅建設における分離・分割発注の  
状況、塗装工事を分割する考え、民間発注  
工事について分離発注を指導する考え
- (2) 共同企業体への工事発注に関し、ジョイ  
ント・ベンチャー構成会社が工事途中で倒  
産した事例と工事発注前の経営状況につい  
ての調査状況等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があ  
り、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

## ② 土木部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

- (1) 不用額に関し、不用額の生じた理由、当  
別ダム建設に係る地元住民との協議状況、  
計画促進についての努力方、道道の維持補  
修の積極的な取り組みの必要性
- (2) 業界の健全育成に関し、建設業経営近代  
化事業費補助の目的、事業の実施状況、道  
建設業審議会の答申に対する措置状況
- (3) 入札問題に関し、入札結果の公表の利用  
状況、指名競争入札のあり方、談合と企業  
間の自主調整との区別に対する見解、単価  
・歩掛表の公表と入札制度を再検討する考  
え等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があ

り、土木部所管に対する質疑を終結。

○2月2日（水） 午前10時32分、第1委員会室  
において開議、午後3時12分  
散会

委員長 若狭 靖（自民）

## ① 林務部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

- (1) 木材不況に関し、木材市況の現状と今後  
の見通し、外材輸入の状況及び価格の動向、  
道有林の収支見通し、林産業振興対策に対  
する見解
- (2) カラマツ材の利用拡大に関し、カラマツ  
間伐材の販路状況、価格対策として適期間  
伐を実施する必要性
- (3) 道有林に関し、道有林の蓄積量の減少傾  
向に対する見解、森林畜積と林野事業会計  
の収支との関連、広葉樹の育成に対する取  
り組み、民有林に対する広葉樹育成につい  
ての指導
- (4) 振動障害の防止に関し、道内における振  
動障害の発生状況、チェーンソーの使用時間  
制限の徹底状況、チェーンソーの低振動機種  
への改良に対する取り組み
- (5) 森林の公益的機能に関し、森林の公益的  
機能に関する啓発普及状況等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があ  
り、林務部所管に対する質疑を終結。

## ② 水産部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員（社会）から、

- (1) 外国漁船の操業による漁具被害等に関  
し、外国漁船の操業に伴う漁具被害の状況、  
韓国漁船による被害の補償措置状況、被害  
実態と補償額が異なることに伴う対処策、日  
韓漁業協定の違反事案の内容と対処策、資  
源保護面への影響と漁業水域法の適用に対  
する見解
- (2) 水産用薬剤の安全性に関し、本道の内水  
面漁業の実態と魚病の発生状況、水産用医  
薬品使用に対する指導状況、ニイの飼料用  
添加剤に使用の医薬品の発ガン性の疑いと  
取り扱い上の指導の必要性
- (3) サケ漁の不正操業に関し、秋サケの密漁  
等に係る事実関係、脱税の内容、今後の密

漁取り締まりに対する取り組み姿勢、違法操業等に対する行政処分についての考え方等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

○2月3日(木) 午前10時20分、第1委員会室において開議、午後3時48分散会  
委員長 若狭 靖(自民)

① 農務部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員(社会)から、

- (1) 病虫害の防除対策に関し、シストセンチュウによる被害状況と生態、防除対策及び営農指導の状況
- (2) 農薬の安全性に関し、除草剤CNP及びエックスゴーニの道内における使用状況、土壌残留及び魚介類からの検出についての把握状況と今後の適切な対処策
- (3) 農政の長期構想に関し、国の80年代の農業構想と道の長期計画との関連性、農家戸数の減少に対する基本的な考え方、酪農家の経営状態等に対する現状認識と酪農家からの要請内容等について

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 稲作農家の負債対策に関し、稲作農家の負債実態調査を実施する必要性、各階層別資金需要と配分状況、特例自作農資金の枠と配分、農家人口の減少傾向に対する受けとめ方
- (2) 学校給食用牛乳に関し、57年度から改正した発注方法の内容、小規模メーカーに不利となる懸念及び輸送費のコストダウンについての検討方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員(社会)から、

- (1) 工事の発注に関し、農地開発部所管に係る56年度の工事発注額と業者のランク別受注実績、上位ランク業者が小規模工事を受注していることに対する見解、共同企業体の格付けのあり方
- (2) 調査設計の委託に関し、農地開発部所管

に係る調査設計委託の総額、受託業者数、北海道農業近代化コンサルタントが民間からの受託がない理由等について

質疑及び意見があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

○2月4日(金) 午前10時27分、第1委員会室において開議、午前11時42分散会  
委員長 若狭 靖(自民)

○ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員(社会)から、

- (1) 苫東基地計画に関し、いすゞの立地の進行状況及び下請企業の進出見通し、地場企業の下請参加の可能性、石油備蓄基地の動向、LPG備蓄基地構想及び北電厚真火発2号機の運転開始見通し、62年における工業基地計画の雇用効果、苫東団地計画の現状と今後の見通し、借入金の累計額と金利負担、用地の利用方法を転換する考え、苫東計画を抜本的に見直しをする必要性
- (2) 道発展計画の点検に関し、点検作業の進行状況及び結果の公表の時期等について  
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○2月7日(月) 午前10時24分、第1委員会室において開議、午後4時5分散会  
委員長 若狭 靖(自民)

① 開発調整部所管に対する質疑の続行、

本間 喜代人委員(共産)から、

- (1) 苫東基地計画に関し、マスタープランを道が独自に検討する考え、開発庁の苫東基地開発推進委員会の構成、委員会の開催回数及び検討項目、業種別立地企業の見通し、いすゞの一貫生産の実現見通し、苫東用地の売却状況と今後の見通し、苫東住宅団地について地域振興整備公団との協議内容
- (2) 石狩湾新港建設に関し、港湾建設の進行状況、中央埠頭の石油取扱貨物量の推計の妥当性、室蘭港・苫小牧港との数量調整、木材港区の利用状況と今後の入港見通し、石狩湾新港と小樽港の機能分担に対する基本的な考え方

(3) 道発展計画に関し、発展計画の点検に関する市町村への説明方法及び内容

(4) 防衛問題に関し、中曽根総理の3海峽封鎖発言に対する受けとめ方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって開発調整部所管に対する質疑を終結。

② **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

**保格 博夫委員（社会）**から、

(1) 英会話の教材販売に関し、道内における販売実態と苦情件数及び処理状況、訴訟が提起されていることに対する受けとめ方、販売業者に対する指導と道民生活安定条例の適用の考え

(2) 食品添加物の安全性に関し、カビ防止剤OPPの使用に対する認識、消費者保護のための指導、表示の徹底

(3) 車粉対策に関し、スパイクタイヤ及びスノータイヤの機能、プロジェクトチームでの検討内容、ドライバーに対する啓発・指導を早期に行う考え

(4) 中札内ダムの建設に伴うアセスメントに関し、ダム建設計画の内容と湛水面積、アセスメント条例の適用の有無

(5) 国立公園に関し、利尻礼文サロベツ国立公園区域の拡大に係る覚書の内容、保留地域の公園地域への偏入ための条件、低レベル放射性廃棄物の貯蔵施設構想との関連等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって生活環境部所管に対する質疑を終結。

③ **公安委員会所管に対する質疑**に入り、

**星野 健三委員（社会）**から、

交通安全協会から尚志学園への貸付土地に関し、地代増額訴訟の経過と裁判所の和解勧告が出された理由等について

質疑及び意見があり、警察本部長及び交通部長から答弁。

○2月8日（火） 午前10時24分、第1委員会室において開議、午後3時6分散会

委員長 若狭 靖（自民）

① **公安委員会所管に対する質疑**の続行、交通部長から、昨日の星野健三委員（社会）

の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、**星野 健三委員（社会）**から、

(1) 交通安全協会の土地貸借に係る係争事案に関し、問題解決の見通しと早期解決の努力方

(2) 運転免許更新事務等に関し、即日交付体制への移行状況、更新時に要する経費、交通安全協会サービスコーナー利用と会費納入の根拠、経理の明確化

(3) 中川代議士の死亡診断書に関し、死亡診断書提出までの経過と虚偽記載の疑いについての措置方針

(4) 非行防止対策に関し、警察職員が青少年に柔剣道を指導する目的、公務として扱う理由、本来の任務に対する影響等について質疑、意見及び要望があり、警察本部長、交通部長、警務部長、刑事部長及び防犯部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

**星野 健三委員（社会）**から、

国民体育大会に関し、56年国体の派遣人員及び経費、本道の成績が下がっている原因、開催県が好成績であることに対する見解、64年国体における競技力向上に対する基本的な考え方、今後の競技力強化策、国体参加人員及び経費について再検討する考え、競技施設等の整備経費と後利用に対する配慮の必要性、大会役員の配置の考え方等について

**本間 喜代人委員（共産）**から、

(1) 宿泊研修に関し、公立高校の実施状況、利用施設の状況と施設整備の必要性、利用料金の格差解消策

(2) 教員の成人病対策に関し、難病の実態調査結果、成人病指定となっていない疾病の取扱いについて人事委員会との協議方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

○2月9日（水） 午前10時25分、第1委員会室において開議、午後3時29分散会

委員長 若狭 靖（自民）

① **総務部所管に対する質疑**に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

- (1) 団体補助金に関し、私立幼稚園に対する補助金交付のあり方、道海外協会・道青少年団体連絡協議会に対する高率補助の妥当性、YMCAの設立目的と助成することの当否、補助金の整理縮小に対する基本方針
- (2) 道の助成団体等の政治活動に関し、道の補助団体等が特定の候補者の推せん等を行うことに対する見解、道の補助団体・認可団体への道退職職員の再就職の状況、道職員の選挙に係わる行動に対する指導、通達の遵守についての認識、道からの工事受注企業の選挙活動と公選法199条の解釈
- (3) 広島町の霊園造成事業に関し、起債許可金額と工事の適正価格に対する見解、起債申請の内容の正当性、落札業者に対する行政措置に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び地方振興室長から答弁、委員長から塚本肇委員（社会）から質疑通告の取り下げがあった旨報告の後、引き続き、

本間 喜代人委員（共産）から、

道婦人行動計画に関し、計画の推進状況に対する評価、男女の賃金格差の是正状況、付属機関における婦人の登用の状況、保育所の整備状況、今後の計画の積極的な取り組み等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁があって総務部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

○2月10日（木） 午前10時30分、第1委員会室  
において開議、午後零時3分  
閉会  
委員長 若狭 靖（自民）

① 知事に対する総括質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、

道発展計画の点検に関し、点検結果の報告の方法と時期、第1回定例会中に報告の考え

本間 喜代人委員（共産）から、

中曽根総理の3海峡封鎖発言に関し、防衛問題及び北方領土返還運動に対する知事の基本姿勢との係わり等について

質疑及び意見があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午前10時52分休憩、午後零時再開。

② 委員長から、各派代表者会議における付託案件に対する意見調整の結果、意見の一致をみるに至らなかった旨報告。

③ 報告第1号（昭和56年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）を議題とし、討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって意見を付し認定議決と決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

④ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

# 資 料

## 第1回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
札幌医科大学附属病院使用料条例の一部を改正する条例	※58. 3. 7 (承認議決)	58. 1. 31	北海道条例第2号
北海道立病院、療養所及び診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	※ 同	同	北海道条例第3号
北海道立精神衛生センター条例の一部を改正する条例	※ 同	同	北海道条例第4号
北海道立開拓の村条例	58. 3. 7	58. 3. 10	北海道条例第5号
北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第6号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第7号
北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第8号
北海道立野幌森林公園駐車場条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第9号
北海道ウタリ子弟大学等修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第10号
北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第11号
北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第12号
北海道土地改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第13号
北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第14号
北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第15号

※条例第2号～第4号は1月20日専決処分、3月7日承認議決。

### 3 月 の メ モ

- 1 日 ○大阪府箕面市の忠魂碑慰霊祭 違憲訴訟で、大阪地裁は「宗教儀式への参列が公務になるという意味で憲法20条2項に違反する」との憲法判断を示した。
- 2 日 ○評論家の小林秀雄氏がジン不全のため死去。行年80歳。
- 4 日 ○ILO理事会は、日本政府が人勧の実施を見送ったことを「遺憾」とする結社の自由委員会報告を承認した。
- 6 日 ○西ドイツの連邦議会選挙で、コール首相の率いる保守中道政権の連立与党が大勝。注目の反核、反体制新党「緑の党」が初進出。
- 7 日 ○第1回定例道議会閉会。
- 12日 ○約百か国の首脳が一堂に会したニューデリーの第7回非同盟諸国首脳会議が閉幕。
- 14日 ○土光臨調会長は首相に最終答申（5次答申）を提出した。答申は「増税なき財政再建」「行政推進委員会の早急設置」を求めている。
- 東北大学は日本で初めて体外受精卵の子宮内移植に成功。
- OPECは発足以来初めての基準原油価格値下げに踏み切った。
- 16日 ○中国政府は国営企業に大幅な利潤の導入や企業の自由な裁量権を認める制度改革草案を承認、発表した。
- 21日 ○原子力空母エンタープライズが15年振りに佐世保へ再寄港。
- 23日 ○札幌医大胸部外科チームは、5歳の男児の心臓の内部に人工血管を埋め込む手術に初めて成功した。
- 24日 ○世界で初めて人工心臓の埋め込み手術を受けたバーニー・クラーク氏(62歳)は手術後112日目死去。死因は全身臓器の機能不全とされている。
- 25日 ○加工原料乳の58年度政府保証価格（農家手取り額）がアップ、政府の買い入れ限度数量も57年度を大幅に上回るようになった。
- 28日 ○白糖線特定地方対策協議会では白糖町が提案していた町営バスへの転換を骨子とする代替輸送計画などを了承。これにより白糖線は58年度中に廃止、バス転換される。
- 29日 ○道庁爆破事件で死刑を求刑された大森勝久被告に対し、札幌地裁は求刑どおり死刑を言い渡した。

北海道議会時報 昭和58年第2号

昭和58年7月25日発行 (通巻第35巻第3号)

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局



北海道議会時報第35巻第3号(昭和58年第1回定例会)